THE SUSUME

無産階級戰闘雜誌

進め

1925

第三年 八月號 第八號

目次

小黨分裂……鈴木厚
社會主義と自由……春田正
唯物史觀或は經濟的決定論の法則……藤卷信一
女子も社會運動に參加せよ……北上靜子
最近の感想……社會運動家 勞働運動家 其他數十名
農民運動の强點……布施辰治
外來思想社會主義？……渡部信義
仕事部屋から……江馬修
獨逸に於ける最近の生活狀態……稻垣守克
光りを呼吸せよ……橋野昇

全土戰報

伸びて行く 鄒然圭
丙午と私產 山口安德
歎 筆 梅津四郎
大風を起せ 辻本良造
靑年の覺悟 水野貝三郎
頭に浮ぶまゝ 東山實
無產者の悲哀 流人生
朝鮮の農村 菊池生
假面を剝げ 谷宗生
島根の運動 赤松朔雄

勞働階級の團結……鈴木厚
赤松君に答ふ……靑野季吉
上海事變と其背後……蔡六夢
婦人運動についての私見……吉田はつ

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
第三年第八號大正十四年八月一日發行

一部十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社告

◇**土曜會の集ひ**　大阪進め社では先に土曜會を設け爾來、毎週の土曜日に社會問題、勞働問題の研究と討論の座談會を開いて居ります。この集會には大阪市内及び近在の熱心な讀者諸氏が見えていつも相當な盛會を極めてゐます。今後もこの集會を缺かさずに續けて行きたいと思ひます。私達は讀者諸氏の力で土曜會を一層盛あるものにしたいと思つて居りますから出來るだけ多くの同志を誘つて御出席下さい。——日時。毎週土曜日午後七時。場所。大阪市東淀川區十三南ノ町六四二進め社（阪神十三停留所下車）

◇**東京の座談會**　毎月五日十五日廿五日の三回に亘つて開いてゐる東京進め社の座談會は移轉以來仕事の取まぎれのため暫らく休んでゐますが八月中旬から再び始めやうと思ひます。

◇**支局**　岐阜縣第一支局水野貝三郎君は病氣のため暫らく休養する事になりました。

◇**法律問答**　この欄は布施辰治氏が擔當して懇切に教へて下さいますから『無産階級運動』の法律に就ての質問を是非讀者諸君から望みます。

猿樂町より

全國同士諸君へ

◆石川、佐々木の兩君は目下郷里なる岩手の奧に新しき勢力の培養中、九月頃上京改めて活躍する由、尚全國の同志によろしくと言つて來てゐる。

◆で當分の中社内の人々の顔も揃はず、暑を田舍に引こんだ同志の連中も少からず、例の研究會は此處暫らく休會することにした。

◆炎暑の八月とは言へ、熱血の同志の半夜の熱辯をきかぬとは、淋しいことでもあるが、しかし、研究會に限らず毎晩でもやつて來て呉れ給へ、僕達はまだ溶鑛爐の熱情をもつてゐる。

◆地方の同志諸兄、上京の節は是非とも社に寄つて頂きたい。僕等は諸兄の眞面目なる顔を待ちあぐんでゐるものである。

◆毎日來る全國からの通信を見るが、暑いなんかと弱音を並べる樣なものの一通もないことは頼母しい。よく汝の敵と戰ふ者は僕達の同志だ。全國の同志に一つしつかり頼む。（渡邊）

言ひたい事の一端

◆不景氣風は暑い寒いの相違なく資本主義社會の隅から隅まで吹き捲くつて行く。まして風當りの最もいいコチトラはたまらない。

◆蛇は蛇同志、集まる處できけばやつぱり不景氣の話で、どうも此のすごさでは何事か起りそうでならない、そして起らなくてはならないそうだ。さてさて愈々社會主義者の活躍の時代來るかな。

◆最近『進め』社へも失業したから、仕事がないから雜誌でも賣らせて呉れろ、と云ふてやつて來る者が續々現はれた。お蔭で進めの七月號なんか發行三日目だと云ふに殘本が一部もなくなつた。しかしと云つて、雜誌がなくなると云ふことと儲る（金が入る）と云ふこととは全然別問題だ。

◆七月號が馬鹿に削れてしまつたので隨分文句があつた樣だが、言はれるこちらも（言ふて來る諸君にではないが）言ひたい文句が數々ござるだ。

◆今度引越した進め社は、日本社會主義運動最初の旗あげ地、三崎町の片山潛氏のゐた跡の近くだ。それで今度は此方で日本社會主義運動一劃期とも云ふべき、新しい運動の萌芽を見たいものだ。

◆三人寄れば文珠の智慧ではないが、僕達の運動は多數の團結に依つてされるはづ、いやだと云へばそれまでの話だが我と思はん同志諸士はどしどしたづねて貰ひたい

◆地方支局の諸兄も一度位は本部に集まつて欲しいと思ふ。出來なければ仕方がないが、通信だけでも要件のみに限らず怠らずやつて欲しい。

◆暑中全國同志の健康を祈る。○○の時まで大事の身體だ（谷口）

八月

又暑い眞夏がやつて來ました。灼熱の太陽と不斷の搾取に苦しむ同志諸君の御健康をお伺ひ致します。七月號が遲れ〳〵て、七月の半ばになつて漸く發行したゝめ讀者から盛んに催促を受けて恐縮しました。中には又發禁でも喰つたのではないかとの問合せもありましたが、これに一々返事を書くのに又骨が折れました。併し、遲いなりにも七月號か出、八月號も無事に出し得た事は愉快でなりません。

住所の不明のため雜誌の舞ひ戻つてくるのも少くありませんが、移轉された際はどうか忘れないで御通知願ひます。諸君の御奮鬪を祈る。（辻山）

選擧熱感

神田下谷は衆議院議員の補缺選擧で騷いでゐる。進め社の隣り近所のおかみさん達迄が何の彼のと云つてゐる。平常その日その日をづるづるべつたりに生活してゐるやうに思はれる斯うした人達迄が斯うして多少ともある熱心と注意をもつて眺めてゐるかと思ふと一寸變な不思議なやうな氣がする。

これは是迄の社會に於て醸成された競爭心の然らしむるのがより以上であらうが、また一方から見れば政治と云ふものが自分達の生活にとつて緊密な關係のあることを無意識作らも意識してゐる爲めの現れではないだらうか、さうも考へられない事もない。

が、然らばその自分達の生活と社會主義とを彼等はどんな風に考へてゐるだらうか？いま彼等は社會主義と自分達の生活とをさう緊密な關係をもつて見てゐない、彼等は何時さう考へる樣になるだらうか。選擧時に彼等が熱するやうに社會主義に熱する時の事を考へないではゐられない。吾々の運動はさうなる迄突進しなければならぬ。力、力、力の結合！（新國）

會計規約

雜誌の御注文に關してはどうか左の事項に御注意下さい。

一　雜誌に關する問合せ、注文等は會計係宛にして下さい

二　住所姓名は判り安く書いて下さい

三　誌代は成るべく六ヶ月分以上前納して下さい

四　集金郵便、代金引換郵便等にての御注文はおことわりします

五　誌代の拂込みは振替が最も安全です（通信欄に用件を明記して下さい）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め
第三年第八號
八月號

無產階級運動八月の歷史

一日 明治三十年 勞働組合期成會第一回月次會、東京に開催さる。

一日 大正元年 日本勞働總同盟の前身『友愛會』創立せらる。

三日 大正七年 富山縣中新川郡西水橋町の女房連、米價騰貴のため暴動を起す。これより『米暴動』全國に波及す。

四日 大正八年 日立鑛山の坑夫二千四百名同盟罷工す。

五日 一八八五年 ドイツの社會主義巨頭エンゲルス死す。

七日 一八六九年 ドイツ社會民主黨大會アイゼナッハに開催さる。

八日 一九一四年 ロシア社會黨代議士戰費議出に反對す。

十四日 一九〇四年 片山潜氏日本社會主義者を代表して第六回國際社會黨大會の席上、ロシア社會民主黨代表者プレハノフと握手す。

十四日 大正七年 米騷動帝都に波及す、大商店交番等襲擊さる。

十六日 一八六七年 マルクス『資本論』第一卷の校正を了ふ。

十八日 一九〇七年 國際社會黨大會トスットガルトに開催さる。

廿二日 大正八年 東京池貝鐵工所に同盟罷工起る。日本最初のピケッチング(見張り)行はる。

卅一日 一八六四年 ドイツの社會民主々義者ラサール死す。

小黨分裂

小黨分裂は日本社會運動の弊風である。アナだボルだといふくだらぬ騒ぎがやうやく靜かになつたかと思ふと、また新しい題目が生ずる。表面は立派やかに理論上の分裂の如く見せかけてゐるが、其れは多く勢力爭ひであり、個人的感情の衝突である。

この弊風は最初社會主義運動其のものが持つ疾病であつた。が、勞働組合運動が社會主義運動に接近し、且つ接觸するに至るや、其れは恐る可き傳染力を以て、組合內部に喰ひ入つた。而して今また現に吾々は、友愛會と評議會との分裂抗爭を見る。いづれが正しきや、いづれに正當なる言ひ分あるや、茲でそんなセンサクはしたくない。たゞ其れが全體としての社會運動にとつて、甚だしく損失であり、ブルジョアの嘲笑の種であることを言へば足りる。

まさか分裂抗爭を運動だと心得てゐるのではあるまい。社會主義運動といひ勞働組合運動といひ、まだ微弱極まるにも拘はらず尙ほ且つ斯々斯くの如き事情の存するは、一體全體何に起因するのか。心ある者は直に答へ得るであらう其の原因は、やつてゐる連中の量見が、ちつぽけなもので大衆を忘れてゐるからだと。小野心家や小細工者が多過ぎて、人を陷れることばかり考へ、遠大の計を立てることか出來ないからだと。然りこんなことではいくら數量的に運動が大きくなつたところで、結局進歩は見られない。一斗しか入らない桶には一斗以上のものは入らないと見える。底ぬけ財布にいくら入れても金はたまらないたとへもある。いくら時勢がよい人間を運動に送り込んでも、ちつぽけな量見や小野心や小細工の寄り集まりでは、分裂また分裂、底ぬけ財布と變りがなく、入つたものは再び出て行つてしまふ。今や無產階級運動を阻害してゐるものは、人に非ず、ちつぽけな量見と小野心と小細工とである。喜ばしからざる現象であるといはなければならない。

然しながら此現象たるや、社會運動進化の一過程に於ける水泡に過ぎない。進化の流れが深淵に臨み注ぐの時は、其種のものは恐らく消滅するであらう。

(鈴木厚)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會主義と自由

春田正

一、資本主義と自由

社會主義社會はその社會に住む人々に衣食住の安心を與へるといふ點は社會主義に反對する人達さへ認める所である。『併し乍ら』と彼等反對論者は言ふ。『是等の利益を購ふためとしては、あまり高い代價を拂ひ過ぎる。即ちその代價として自由の總てを失はなければならない。籠の鳥は毎日食物を充分得ることが出來るし、餓や兇惡な天氣から保護されることは出來る。だがその鳥は自分の自由を失つてゐる。そしてそのために籠の鳥は憐れむ可きものとなつてゐるのだ。あの鳥を見給へ、危險の多い外へ出て、自分の生存のために鬪ふ機會を得やうとして惱んでゐるではないか。』と。

彼等は社會主義は經濟的自由、即ち勞働の自由を破壞するものであると主張し、社會主義は一種の專制主義を招來するものであるといふ。

成る程、社會主義的生產は、勞働の充分の自由、即ち、自分の好き勝手に時や場所や方法を選んで働くといふ樣な勞働の自由とは兩立し得ないことは事實である。併し、この樣な勞働の自由は、例へ資本主義の社會であつても、社會主義の社會であつても何くも組織的な勞働の行はれる所では兩立しないのは當然のことである。

「勞働の自由」を破壞するものは社會主義者ではなくて、社會の進化に伴つて起つて來た大規模生產のノッピキならぬ通り道である。勞働は自由でなければならぬといふことを最も聲々我々に聞かして吳れるのは資本主義者である。所が何ぞ知らん、その資本主義者こそその自由を破壞することに最も貢献しつゝある當人達なのである。

今や勞働の自由は工場だけではなく、資本主義生產の恩澤に浴してゐる所には何處にも存在しないのである。自由は筋肉勞働者であらうが頭腦勞働者であらうが、凡そ現代の產業組織中に卷き込まれてゐる人々とは縁遠きものとなつてゐる。

だが、或點に於て勞働者は資本主義制度の下で自由を享樂し得るといふことは眞當である。若しも勞働者が、或工場における仕事が自分に適してゐないと見た場合、彼は自由に他の工場で職を見付けることが出來る。又彼は雇主を換へることも出來る。社會主義の社會では、凡ゆる生產手段は一つの手に歸する。雇主もたつた一つである。從つて雇主を換へることとも出來ない譯である。

此の點においては、現在の賃銀勞働者は社會主義社會の勞働者と比べて一種の自由を有する。だが此は『勞働の自由』と呼ぶ可きものではない。今日彼等が如何に賤しい仕事を換へることが出來ても、彼等は自由を見出すことが出來ない。どんな仕事でも勞働者の行動は制限を加へられ、束縛を加へられてゐるのである。

從つて勞働者が、社會主義社會では失ふぞ、といつておびやかされてゐる所の自由は『勞働の自由』ではない。『雇主を選ぶことの自由』なのだ。現制度の下に於いては、此の自由は非常に大切なものだ。それは勞働者を保護する所のものである。所がこの自由さへ、資本主義の發達に伴つて段々と破壞されつゝあるのである。失業者は絕えず勞働市場に溢れてゐる。それだのに雇主の何と少きことよ！彼等の唯一の自由は何處へさ迷つて行くのだ！更に少數者の手中に刻々と生產手段が集中しつゝある現況は、勞働者を同じ雇主の下に置く傾向を生じ、勞働者が如何に雇主を換へても、同じ雇主の鐵者に屬する樣になる。此等の點から考へて行くと、社會主義の中で惡い、暴虐だと非難される諸點は近代社會の經濟的發展が齎す自然的傾向なのである。

社會主義はこの進化發展を阻止しやうともしないし、又事實出來ないのである。だが他の多くの點に於けると同樣、この點に於ても社會主義は、其發展に食ひ付いて來る害惡を除き去ることが出來る、社會主義は勞働者を機械に從つて動かすことはどうにもすることは出來ないが、併し、勞働者を資本家の搾取に委ぬる代りに、全人類のため、總ての人が平等な同じ利害を有する全社會の爲めに働かすことは出來る。

忠實なる自由の奴隸共や、老猾なるブルジョア自由論者は社會主義社會の勞働は堪え得られないものであると稱するが、併しその勞働は、現代のプロレタリアの勞働から見れば決して堪え得られないものではない。只それ等を堪え得られないものであり、勞働者に課せられる是等の暴政から彼等を救ひ出すのは自分等の義務であると說き、屢々腕力に訴え、流血の慘事を現出する悲惨なる道化役者は決して勞働者ではなかつた。それは勞働者を搾取しその甘き利潤に陶醉を續けてゐる資本家達であつた。哀れなる自由よ！、そんな自由は今日では最早奴隸所有者を除いては誰も辯護者も傾聽者もないのだ！

社會主義社會では決して利潤を得るために根もない自由を押賣りする樣なことはしない。例へ、勞働をするために自由を犧牲にする樣に見えても、それは決して專制的な性質を持つてゐない。否その犧牲にこそより高い自由への階段となるのだ。

二、勞働者と敎養

大規模生產が始まつたその時以來、生活の必需品の生產に從事する人々はその仕事のために凡ての時間を奪ひ取られた。彼等は體も心も凡てその仕事のために捧げ、訓練することが必要となつて來た。これは漁夫や獵師の場合ばかりでなく農夫や細工物師や商人に於ても同樣であつた。彼等は筋肉を鍛え、神經を練り、頭腦を銳敏にし、知識を得るために沒頭した。併し乍ら、勞働の分業が行はれるに從つて、彼等は段々專門的になつて來た。全體の仕事は部分的な仕事にとつて代へられた。そして生產者は全體の仕事を理解する能力を失つた。心身の調和のとれた圓滿な發達は終りを告げた。學問や藝術は眞に無用なものとして彼等

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

等から遠ざかつて行つた。そして精神上の趣味や、眞理の探究は貴族か奴隸所有者の餘技となつて了つた。夫等について哲人ソクラテスは言つて居る。「商人や勞働者は教養がない。彼等は暇がないからだ。暇なしには如何なる善き教育も受けられない。彼等は只商賣上彼等に必要なもの丈けを學ぶ。そして彼等は言ふ「尊敬や智識から得られる快樂は金を作るものと比べては價値のないものである」と彼等は眞理も美も理解することが出來ない。」

凡そ經濟的發達は此の時以來進展した。勞働の分業は夢想だにしなかつた點にまで達した。そして商品生產制度は多くの前時代の搾取者を追拂つて、教養ある人々を生產者の階級中へ引き入れた。勞働者や農夫と同樣、金持も亦一生懸命に彼等の事務をとつた。彼等は藝術や學問に沒頭することを止めて、貿易所や市場へ出入した。斯くて彼等は全精神をその方面に傾倒し、平凡な娛樂や趣味で間に合はした。

一方、教養ある人々が生產者の階級に這入つて以來、彼等の智識は商人的になつた。彼等はもう、自分等と何等利害關係のない眞理を探求したり、理想を追つたりすることを止めた。彼等は皆自分達の商賣のために沒頭し、金になることが出來ない樣なものを學ぶ暇に時間を費すことをしなくなつた。學問や藝術も亦その獨自の地位を保つことを止めた。それ等は段々商人的な色彩を帶び、專門家が續出し、段々商業の水平線まで引張り落された。此處でもう一度ソクラテスの嘆息を引用することが出來る。

間もなく新しい勞働が起つた。それは機械勞働である。そして新しい階級、即ちプロレタリアが現はれた。

機械は凡ての勞働から智識の必要を失くした。勞働者は機械の前では、最早考へる必要がなくなつた。機械が勞働者のなすべきことを萬事指し示して呉れる。勞働者は此處では機械の附屬物となつたのだ。

三、勞働者と生活

プロレタリアの仕事が單調になり、智識的な勞働の必要がなくなつた第一の結果として擧ぐ可きは勞働者の心の働きが不活潑になつたといふことである。

第二の結果は、勞働のみに費す時間が非常に多くなつたといふことである。一體プロレタリアにとつては勞働と生活とは一致しない。生活は只勞働が終つた時にのみ始まる。生活と勞働が一致するものにとつては勞働の自由は生活の自由を意味するであらうが、勞働しない時にのみ生活のある勞働者にとつては、勞働から解放された時のみ、自由な生活を享樂し得る。勿論我々は如何に努力しても全然勞働から解放されることは出來ない。だが我々は勞働時間を減じて生活する時間を多くすることは出來る。即ち勞働の時間短縮が現代のプロレタリア側の鬪爭の旗印の一つとなつて居るのはこのためである。時間短縮のためにプロレタリアの鬪爭は、賃銀値上や失業者救濟等の樣に、經濟的利害を目標とはしない。その鬪爭こそ實に、勞働者の『生活のための鬪爭』なのである。

併し機械の智識を不必要なものとする性質は第三の結果を齎らした。即ちプロレタリアの智識は彼等の仕事には用がない。だから彼等は自分等の精神をその仕事以外に働かさうとする。

斯くて現代の社會の下で著るしい現象の一つとして數へ上げるべきはプロレタリアの智識慾である。プロレタリア以外の階級は只、氣散じや、氣休めに智識を弄んで時間をつぶす傾向があるが、プロレタリアは智識に對して內的衝動を感ずる。而もこの智識慾には何等職業的な利害を伴はない。彼等は自分の精神的衝動によつて眞理を追求するのであつて何等物質的利潤のためではない。だから智識を求めるにしても彼等は決して領域を設けない。彼等は全體を包括しやうとする。彼等は社會の總てを理解しようとする。だが、憎む可きかな！資本主義制度の下にあつては彼等は組織的に智識を研究することが出來ない。彼は不便な『自己教授』に頼る以外にはない第一彼には研究するに充分の時間がない。

科學と藝術とはプロレタリアにとつては、遙かなる彼方に見える隱れの大地であり、やがて達すべき運命にある樂園である。だがその樂園は懷手では得られない。猛烈な鬪爭の後においてのみ始めて入場を許されるのである。

四、社會主義と自由

やがて鬪爭に依つて社會主義が勝利を得た場合プロレタリアは總ての教養に惠まれる。只社會主義の勝利のみが勞働時間を減らすことも出來るし、勞働者も充分に時間を得て、智識を研めることが出來るのである。資本主義は勞働者に智識慾、藝術慾を目覺めさす。そしてその慾望を充たす役割こそ實に社會主義のみが持つ使命なのだ。

社會主義の下でも『勞働の自由』はない。併し『勞働から來る自由』はある。機械は發明され『生活のための時間』は刻々と長くされる。而して資本主義の雇主を選ぶ自由即ち奴隸的自由は終りを告げるが『生活の自由』を獲得する。

斯くて人類の歷史中甞つて選ばれた少數の貴族共の特權であつた所の學問、藝術は、やがて全人類的の者となり、全文明人の共有財產となるであらう。機械はやがて人類の從屬的地位となるであらう人々は資本家に搾られるために使つた血や汗を、彼等の生活や智識や藝術の向上に使ふであらう。そして、古代ギリシアが歷史中に一際目立つた文明を誇つてると同樣社會主義の社會は、燦爛的光輝や、物質的幸福や、藝術や科學の深遠を遙か後世の歷史にまで持ち續かしめるであらう。

此の理想の可能を認め、この自由の現出に努むるものは幸ひなるかな！而して此の努力こそ一に無產階級に殘されたる歷史的使命である。ブルジョアが如何に巧言を用ひ、自由奴隸者が如何に罵倒しやうともその好意は謝して避く可きである。諸君の中西洋のお伽噺イソツプ物語りを讀んだ者は思ひ出すであらう。羊を食ふ前のあの狼の如何に巧なる言葉よ！

（以上は唯、マルクス以後の社會主義の碩學カール、カウツキーの說を紹介したまでである）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

唯物史觀或は經濟的決定論の法則

藤卷信一

1 原始より近世文明への人類進化に於ける經濟的發達階段を容易に劃し得る方法は何か。

答 衣食住獲得手段による。換言すれば或時代に使用せる道具設備の性質に依る。然して其れに依り經濟的生產樣式が指導せられ其れを通じて異れる社會制度が建設される。

2 人類進化を三大分類せよ。

答 原始、野蠻、文明時代へ

3 モルガンは更に、原始時代を如何に三分類するか。

答 A初期原始時代。食物は果實胡桃木根等であつた。原始人は生計を立てる爲に氣候に惠まれた森林土地に住まねばならなかつた故に環境は此の生活資料に依り決定された。最初の明晰なる言語は此の初期に生み出された。

B中期原始時代。火の使用の智識、從つて魚肉攝取に依り生活する能力と共に初まる。原始人は斯くして更に廣く國土に分布し以前より氣候的條件を顧慮せずして森林海岸河流の邊に住む事が出來たから上流の地は環境を動かした。人肉嗜食も行はれた。

C末期原始時代。弓矢の發明、從つて一層豐富なる鳥獸の供給に依り生活する能力と共に初まる。此の武器は又野獸の侵掠を防ぐ方法ともなつた。

4 モルガンは更に野蠻時代を如何に三分類するか。

答 A初期野蠻時代。原始時代から消滅し陶器術の發明と實行とに初まり恐らくは或程度の穀物の栽培と澱粉食の使用を伴つた。

B中期野蠻時代。東半球に於ける肉、乳皮を得る爲めの動物の馴養と西半球に於ける穀物の栽培、石造と天日にて作れる煉瓦の家屋の使用に初まる。

C末期野蠻時代。鐵の精錬製作に始まる。それよりして原始的道具武器を作つた。

5 道具生產樣式を標準とせる文明時代の三分類如何。

答 A手工具時代。野蠻時代より消滅し音符的字母發明に初まる、此の時代は個人が便宜に所有利用し得る手工具と其の設備の發明に依り劃される。原始的產業は農業地に限し其れが漁業等を除いた總ての產業の起原的單位をなした。

B機械時代。蒸氣に依り運轉する機械の發明を刺戟せる蒸氣の發明と利用に始まる。斯かる機械は出費多くして益々個人勞働者の所有困難となり之を使用するを不可能にした。機械所有者に雇はれた勞働者の群が此の機械を使用する事が必要となつた。斯くして勞働の分業、社會化せる生產、賃銀制度など建設せられたる制度となつた。茲に幼稚なる農業の初期產業は機械に代られ產業上の中心或は都會に群がり工場產業の起原的單位より隔たれるものとなつた。

C近世產業時代。機械を所有する製造者間の排他的競爭に依る產業の合同と集中に始まる。此の時代は又電氣の大々的利用と其の力を利用する機械の發明と利用に依り惹起される。茲に又更に高級なる發達に於ける社會化せる產業の緒がある。

6 進化の各時代に於て家族生活は其と如何なる關係を持つか、結婚の形式を擧げよ。

答 A原始時代の初期にては一定の結婚の形式はない。

B家族成立への第一步は女性至上女系中心を伴へる群婚の低級な形式なる血族家族と共に現はれる。

C家族成立の次の階段は後にPなる群婚の高級なる形となつて現はれる。茲にも尚女性至上女系中心がある。

D Pの型から發達してPFとなる。其は末期原始時代初期原始時代に現はれた群婚の最後の單位に於ける結婚の不定なる形式である。此は群婚が原始時代の特徵だつた如く野蠻時代の特徵的形式である。

E末期野蠻時代文明時代に於ける私有財產制女性征服階級の出現と共に男性至上男系中心を伴へる一夫一妻制が發達した。家庭に於ける男性至上は父の財產相續の爲に男性が後裔の同系なるべきを決定し得る事を要求した。

7 政治的狀態の發達が經濟の進化と如何なる關係を持つか。

答 A社會進化の最初の單位は原始時代に氏族の中に現はれ、或る程度の變化を伴へる血族關係と性に基礎づけられた。氏族は人民の階級、胞族又は胞族同盟組織の單位をなした之等組織は民主的に男女に依つて指導せられた。

B財產(土地)の私有の出現と共存する階級の成立と共に、初代の氏族胞族は土地に奴隸を保持する爲に軍閥的勢力となつた。之が國家の初期の形成である。

莊、國家は土地が產業の中心なりし時代の產業と照應する領土の制限にまで發達し其に從ふ形を持に注意する。當時產業上地方的であつた、近世產業は機械の發達と近世の設備の集中とに依り土地の制限を顧慮しない。此の點は確に管理の進步に取つて單なる領土ではなく機械產業に基いた。

C爾後も國家は其の存在を擁せる經濟的强制力に對して反應し來つた。即ち一階級が國家の政治的權力に再現せる經濟力に依り國家の强制機關を以て他の階級を支配する經濟階級の成立である。經濟的權力を有する階級は殘以を經濟屈從させる爲に國家を利用し續ける。勿論經濟的權力を得たのは國家と共に土地所有階級の利益の下に支配したからである。

D近世にありては國家は依然として解放を目指す賃銀勞働者の如何なる生活の徵候をも抑壓せん爲に支配階級に軍備し禁止令法律を具へて利用されて居る。

8 如何なる經濟的條件が反對の利害を有する社會の階級を派生及び成立せめたか。

答 末期野蠻時代の更に一般的土壤の耕作と共に土地は征服と所有の目的となつた。被征服者は其の土地に從屬階級として働く奴隸とされ、征服者は土地の私有と支配

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に依り彼等の主人となつた。並に後發達して國家となれるもの、成立あるを注目せよ。

9 其の後の如何なる條件が背馳する利害を有する階級を發達せしめたか。

答 A後、土地は武力的維持を條件として君主より封建諸侯に分與せられた。諸侯は從屬階級として土地を耕作し勞働せざる階級の爲に財を生産する農奴に封建的條件の下に賃與した。

B機械の出現に伴ひ機械所有者、貿易業者より成る他の階級が成立した。彼等は、封建制度を顚覆し更に國家を支配する階級として其の地位を取つて代る事が出來、斯くして一階級として經濟的に優勢になつた。此の狀態の中に賃銀の爲に機械を所有する資本家に傭はれ機械を以て働く勞働者より成る他の從屬階級が成立つた。

10 支配階級の經濟的勢力は機械と生産手段の所有と支配に依つて成長した。然らば如何なる方法にて勞働階級が己を解放すべき經濟力を發展せしむる事が出來るか。

答 勞働階級の經濟力は勞働力を支配し、其に依り機械及び生産手段を支配し共同所有する團結せる能力より流生する。其の機械たるや人間勞力の適用なくば衣食住を生み得ないだらう。

11 羅馬の文明は如何にして國境を越え征服の不可能なる他國に迄發展せるか。

答 產業の養成と商業の建設即ち經濟力に依つて。

12 如何なる經濟的條件が大いに羅馬帝國の沒落を助成したか。

答 軍備維持の爲の法外なる農民への租税は農業を不可能ならしめ、土地は放棄され農民は都會に群がつたが其處にては政府の費用又は個人の慾望で征服せる洲より取れる食糧を詐取して居つたのだ。之が帝國を弱むる事甚だしく爲に更に征服の機會又は中央歐羅巴の野蠻人が其の長き國境に侵入するを防禦する事が不可能となつた。

13 此の時代如何なる經濟的條件が教會に影響せるか。

答 教會は强固に組織せられて居た。衣食と避難所と保護を求めて群がり來る被保護者の避難所となつた。富者は攻撃され財産を掠奪される恐れがない故に行つた。有力なる政治家は僧職に依り取得せられて居つた巨大なる財産の管理に手腕を行使せん爲教會の與へる機會を求めて行つた。熟練職工は營業上の保護を得る爲に行つた。

14 教會の經濟的重要さは中世紀の政治に如何に影響せるか。

答 教會は其の巨大なる財産の保持に依り大なる政治的權力を獲得し之に依り軍事的勢力となり無抵抗と謙讓の以前の地位を顚倒した。

15 文藝復興又は産業の復活は教會に如何に影響せるか。

答 其は教會に改造と新教徒の反抗とをもたらした。新しき經濟的發展は教會の分裂となつた。古き封建的貴族政治は古き教會に表現せられたと云ふべく一方新興資本階級は教會の反抗と新教會の建設とに其の表現を見たのである。

16 大英國を『海の覇者』とせし原因如何。

答 英國の產業と商業の發展之である、此の經濟力は大英國をして領地を擴張し政治的に世界の强國となるを得しめた。

17 亞米利加の發見は如何なる經濟的動機に依りしか。

答 スペイン貿易業者の東印度の取引地への直接航路確保の希望。又多量の金を得んとする熱望。

18 最近世の生産道具進化せる思想の輸入に依り部分的にしか進歩せざる社會に高級なる社會制度が打立てられた國を列擧せよ。

答 移民に依るアメリカ、南アフリカ、濠洲、採用模倣に依る日本、支那。

19 一七七六年アメリカ植民地の大英國に對する政治的叛亂の經濟的原因は何か。

答 植民地第一流の貿易業者の輸出入に對する英國の干涉及びアメリカの奴隷所有者と地主の擴大なる地域獲得に對する英國の制限。

20 如何なる經濟的條件が合衆國に於ける動產的奴隷制度廢止に大なる寄與をなせるか。

答 動產的奴隷制度は工場組織の發達して居なかつた南部地方植民地に採用せられた。新英蘭洲に於ける賃銀勞働の工場組織が常時此の國に於ける發達の頂點に達して居た。當初の動產的奴隷制度廢止論の發生助長の地が工場州に最も强く表示されたと云ふ事は意義ある事である。又北部の『保護』を求むる賃銀勞働使役階級と南部の『自由貿易』を欲する奴隷所有者階級との間に利害の衝突が起つた。工場所有者は又賃銀勞働は工場に取り、奴隷勞働より低廉なる形式なる事を知つた。

動產的奴隷制度の主要點は、南北戰役起らず、リンカーンの宣言なかつたにしても南部地方に於ける工場の發達に依り打破られて居たのであらう。

21 動產的奴隷制度問題は教會に如何なる影響を與へたか。

答 教會は此の經濟問題の爲めに南北に別れた。斯くして又經濟問題は社會の經濟階級を通じて教會を支配するを知る。教會は其の經濟的差異階級の利害を一致して正邪德不德に就き異る。

22 スペイン、アメリカ戰役を惹起し其れに依りキューバと比律賓諸島を制御せん爲めに如何なる階級の利害が巧に事を操つたか。

答 合衆國の合同せる煙草砂糖產業の所有者と其れに依り利益を受ける者にして彼等が何等支配力を有せざる他國政府の干涉又は强奪を被る事なく其等の島に於て自由なる發展を遂げんと欲せるものである。

23 勞働の組合組織は經濟的條件と如何なる方法にて一致するか。

答 同業組合組織は產業の手工具時代や從つて起る勞働者が階級的利害を認識せずに熟練さを支配せんとする方法より派生したものである。其れは機械的產業を通じて又大機械と集中せる所有權を持てる近世產業に迄伸展したが機械は

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

分業的職工の熟練さに取つて代るが故に其の後の發展を阻止し得なかつた。

24 如何なる形式にて資本家の經濟力が發達したか。

答 産業商業交換即ち衣食住の生産手段の集中せる所有と支配の形式に於て、彼等は完全に産業を支配する。一度産業が集中或は合同せらるゝや彼等は國境、部門、職業の異同に拘はらず一致して當る。

25 如何なる方法に於て勞働者の産業の合同組織が經濟的發展に一致するか。

答 勞働者の産業組織は大機械を伴ふ、集中せる産業より派生したものである。其れは、勞働階級の實力が産業の私有を顛覆し、階級及び階級の利害關係を廢止せんとする共同所有制を樹てる程充分に發達した曉き勞働階級の利害の下に勞働者に依り總ての産業の將來の管理を發達せしめる革命的目的を以て階級の利害の原理の上に建設せられたものである。

26 經濟的發展に關して政黨は如何なる機能を持つか。

答 A 政黨は階級の利益の爲に國家の强制的權力を支配せんとする目的を以て階級の利害を代表する。

B 或政黨は異る資本主義的利害、即ち産業、商業、交換の所有者支配者を代表する。

C 社會黨は勞働階級の利害を代表する爲に組織される。勞働者の政黨に實際に政治的勢力を與へる支配的經濟要素は、富の創造文明の發展に必要なる彼等の勞働力を支配する爲の經濟組織に顯示せられて居る如くに、勞働者の經濟力なる事を知る。

唯物史觀概説

過去の歴史は人間の勞働が常に直接に包含せらるゝ實際的生産方法の發達に盡力するより以上に戰爭及び支配階級の征服に從事せる主權者階級に適する樣に書かれて來た。故に斯かる歴史は社會の基礎なる生産的勞働の見地から書かれて居ない。唯物史觀研究を概括するに總ての社會制度は經濟的條件より發達し、戰爭は生命の源泉勞働の生産物を得んとする野蠻的爭鬪に過ぎない。最初の階級の成立より、何の時代に行はれたる法律、習慣、道德、倫理、宗敎も當時の支配階級のものにして其の階級の經濟的利害の所現せるものである。同じく各時代の文學、敎育は支配階級の利害に最も適應せるものである。

奴隷は强制的條件に從ふべき事が道德的で、正當であり神聖なる起原を有するものとせられた時代は好い時代だつた。當時の文學は又支配階級に取り物質的利益を有する制度に調和して居た。

同樣の事が農奴が封建諸侯貴族に依り經濟奴隷として所有せられて居た時代にも眞理であつた。

同樣の事が又資本家が近代賃銀勞働を搾取する事を道德的で正當で神聖な起原を有するものであるとせられた資本主義制度の下に於ても眞理である。此の制度は又支配階級のものにして其の階級の自身の概念即ち物質的階級の利害に蒙つた法律、習慣、宗敎、倫理、文學、敎育に依つて認許されて居る。

故に正邪德不德は恰も搾取者と被搾取者の利害が衝突する如くに相抵觸する語である。

今や如何に集團の思想行動が聰明に行動するに際し、斯くも生計獲得手段から招致され易いかを知る、物質的利害は非常に勢力ある法則である。（完）

在鮮々人同志諸君に望む

元山 菊池生

無産階級の解放運動は世界的のものであつて、無産階級に國境なしとは眞理である。それに朝鮮の同志諸君は内地人のブルを敵視すると同じ眼を以て無産階級であり同志である吾等を迄敵視し、反目するは餘りに感情的でありはしないか。それは決して朝鮮の無産者解放運動上に好果を見せないばかりか寧ろ少からざる支障を有形の上に來す者である事を云ひたい。勿論そふした内地人への敵愾心は過去及現在に渉りて我々内地人の一分子であるブル共が諸君鮮人無産者を極度に壓迫した結果、そうした通有的觀念を生んだ者である位は充分解つてゐる。解つてゐるが故に微力乍ら内鮮無産階級の團結を策せんとしつゝあるのだ。我等の敵は民族や人種ではない。我々無産階級の敵は皆吸血ブルにあるのだ。眞に階級的に目覺めたる内鮮無産階級の團結が危機に瀕せる二千萬民衆を救ふ所以であることをはつきりと、赤い血潮のたぎる胸三寸に叩きこんで貰ひたい朝鮮の無産階級解放戰のとかく振はざる今日特にこの苦言を親愛なる同志諸君に送りたい。

七月の消息

市電自治會の合同

東京市電氣局從業員間には運輸課勞働者によつて組織されたる市電從業員自治會と工場勞働者によつて組織されたる市電工場聯合會並に各車庫事務勞働者によつて組織されたる市電車庫聯盟と三者鼎立して、無産階級の立場と同一産業勞働者としての立場より相互に聯絡提携し、最も親交深き友誼的關係を持し來つたが、各組合とも數次の大會に於て、同一局内に於ける大同團結の必要が決議され、殊に今春の大會終了後相互に合同促進の氣運を釀成し、茲に公正なる白紙的態度を以て、去る七月一日を期し、三組合を打つて一丸とせる一大合同の完成を遂げ、一萬五千を擁せる强大なる東京市電從業員自治會として無産階級の共同戰線上に立つに至つた。

芝浦の同盟罷工

芝浦製作所は新工場の增築、業務の擴張、職工の募集、超市場的非常利率を保持しつゝある等の現狀にも拘はらず『業務上の都合』を口實に、同所に從事する職工の内、十八名を生活難、求職難の黒くうづまく街頭に投げ出してしまつた。之に對し、全工場員は一齊

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

仕事部屋から

江馬修

社會主義者の中に、そしてマルクスの研究者と稱するものゝ中にさへ、新しいロシヤを知る事に於いて餘りな無關心を見出すのは一體どういふわけであらう。

云ふまでもなく、新しいロシアは地上に建設せられた最初の社會主義共和國である。よしやボリシエビーキでなくとも、マルクスを研究するものはもとより、乃至その反對黨たる無政府主義者やサンヂカリストと雖も、假にも社會の問題をまじめに考へてゐる人々は熱心と細心とをもつてあくまで新しいロシヤを知らうと努むべきである。いや、さうする義務があるのである。丁度癌の治療法を研究してゐる學者が、もし外に同じやうな學者の研究の發表があつた場合に、それを無視して顧みないといふ方があり得ないと同じ事である。

「だつて僕はボリシエビズムに反對だし、從つてロシアなんかどうともなるが良い。」

中には反ボリシエビーキの社會主義者がさう叫ぶかも知れない。もとより、彼が贊成するか敵對するかはその自由である。しかしさう宣言する前に、彼はどんな程度までボリシエビズムとロシヤを研究したのだらう。僕の知るところでは碌々ボリシエビーキのプログラムさへ知りもしないでこんな勝手を云つてゐるものが多い。實に間違つた話だと思ふ。同じ社會の問題を研究し、その改造に志してゐる君ではないか。よしや主義主張には何々と相違があるにもせよ、歷史の上に初めて出現したプロレタリア國家を、――限りなき献身をもつてなされつゝある實驗を、できる限りの注意深い熱心をもつて研究しないといふ方がない。

巴里コンミユーンの一揆が起る前、マルクスは今王政をくつがへさうとするの愚を宣言して憚らなかつた。しかし愈々巴里コンミユーンが起るや、細心の注意をもつてそれを指導もしたり研究もしたりした。そしてその經驗から得たものによつて學說を補ひさへした。

レーニンなぞも自ら革命を起す前に、巴里コンミユーンの革命なぞを實に熱心と細心とをもつて研究してゐる。もしこれらの經驗と研究とがなかつたならば、あの十一月七日の革命も成就しなかつたかも知れない。――これはレーニン自身も云つてゐる事であるが。

ところが日本の社會主義者の中には、共産黨員に對する個人的反感から共産主義そのものを惡しざまに云ひ、引いてはロシアをまで同じ反感をもつて敵視してゐるやうな人が見受けられなくもない。もし日本の共産黨員がいけなければ、――僕だつて良くない人々のあることを知つてゐる、――正面からして非難するなり攻擊するなりするがよい。しかし徒らに彼らを中傷誹謗したり、ひいてはロシアそのものをさへ無視するに到つては、あまりに常軌を逸したことではないか。

しかし最も驚くべきことは、これに似た傾向が無知な自稱社會主義者の中ばかりでなく相當に學識のある主義者の中に見出される事である。彼等は第二インターナショナルの領袖たち、即ちベーベルやカウツキーやベルンスタインの著書は讀んでも、レーニンやブハーリンやヂノビエフのやうな第三インターナショナルの人々、即ち眞の革命家の立派な述作にはあまり注意してゐない。最近一部分にインターナショナリズムのかはりに一種のナショナリズムが相當の勢力を得てきたのも無理が無い。

ともあれ僕達は同じ癌治療について研究してゐる專門家の執拗と熱心とを以て、同じ研究を實驗しつゝあるロシヤを長所はもとより缺點をも見脫さないやうにまじめに檢査しやうでは無いか。(完)

××の歌

カズヨシ

○
演說會
歸りには何時も唄ひたる
俺の好きなる××の歌

○
淋しさを紛らす爲に唄ひけり
××の歌
心ゆくまで

○
××の歌をうたひて
街をゆく
示威行列に春の風吹く

○
××歌
聲高らかにうたひ行く
演說會の歸り路かな

○
俺達の
胸に流るゝ赤き血よ
そのシンボルの××きらめく

○
脈々と燃ゆる血潮のやりばなく
××歌うたふ
夏も來しかな

○
××歌
うたへば嬉し赤き血の
流れ出づるが如き心地す

に起つて、馘首職工の復職要求を會社に迫つたところ會社側はこの復職要求は、追加馘首者二百餘名を出すとの威嚇の一言を以て一蹴されてしまつたのである。

こゝに於て、芝浦製作所從業員は資本家の高壓的態度に對して蹶起し、我等の要求の容れらるるまで全工場員を擧げて、斷然同盟罷工を決行する旨七月十三日聲明書を以て發表した。

伏石事件に憤起す

幾多の悲劇と人權問題を引き起した香川縣伏石の小作爭議應援のため、日本農民組合大阪本部では大阪、京都、兵庫の組合聯合會幹部二百餘名を招集して、これを三班に分ち、七月十八日高松に向け出發せしめた。これに對し日本勞働總同盟からも三十餘名、日本官業勞働總同盟、關西聯合會及び勞働評議會からも相當の應援隊を送る事になつた。尚香川縣聯合會では自由法曹團の應援で同事件の批判演說會を十七日午後二時高松市内町大和座で開催したが、無能なる官憲は次から次と中止を連呼し、松谷辯護士がこれを詰ると血迷つた警官は同氏を袋叩きにした上檢束して、半ば遂に演說會の解散を命じた。

滯歐通信

獨逸に於ける 最近の生活狀態

在獨逸 稻垣守克

食物

マルクが安定して以來、既に食料狀態は改善された。驚くばかりである。何でもある。戰前と同一のパンも肉も殆んど不自由はない。食料切符制度も全く廢された。一九一八年より一九二三年秋、マルクが安定されるまでは肉屋の店には他國に於ける如く肉が見られなかつた位である。然るに一九二四年になつてからは肉店、菓子店其の他食料店の窓が見事に飾られるやうになつた。

物價

食物が在ると云ふことはすべての人が滿腹し得ると云ふことを意味するのではない。金が無ければ食物は買へない。買へなければ有つても無くても同一である。

概して云ふならばマルク安定以來は榮養狀態はよくなつた。高くてもどうにかして口に入れることを考へる、金があつても買へなかつた時より、金さへあれば買へる今日では少しでも收入のあるものは先づ肉を食ふことを考へる。

一般の俸給生活者は以前よりよい食物を食することが出來るやうになつたが財布の中にはすぐ金が無くなつてしまふと云ふ狀態になつた。

即ち物價に比して俸給が極めて少い、職業によつては戰前の半分位の俸給をとつてゐるものがある。戰前は毎月六百マルクも取つたものが今では二百マルクの人もある。そして物價は戰前よりも高くなつてゐる。物によつては二倍三倍になつてゐる。

過去數年間に比すればマルク安定以來の俸給は實際價値として十倍にもなつたかも知れない。即ち外國貨に換算して見れば一ケ月日本金十圓位の時もあつた。此時代には例へば日本人は一ケ月十五圓位で獨逸を觀察旅行した話もある。其時には獨逸人は馬鈴薯の腐つたのさへ容易に得ることが出來なかつた。豌豆を少し鍋の中に入れて水だけで煮たものが晝食であつたりした。それでもどうにか切りぬけた。今若しあの時のやうな生活をするなら、それは今の收入で十分である、餘る位である。然るに人間の慾と望みとには限りがない。肉屋には立派な罐詰が無數に振ら下つてゐる。食品店にはスイスのチーズでも米國のコンビーフでも澤山並んでゐる。金のあるものは思ふまゝに買つてゐる。俸給を貰つて家に歸る途中に、つい買つてしまふ。それが一ケ月の收入の何分の一と云ふ比較的に大金であることには氣が付かずに。

數の觀念

物價に對する數の觀念が缺乏してゐる。五十フエンニツヒと云ふと丸で零であるやうに思ふ。そのくせよく考へて見れば百マルクの月給取ならその二百分の一をなすのである。然るに數年間マルクが安い爲め何千、何萬、何百萬、何百億兆と云ふ數字になれて來たからフエンニツヒと云ふ文字を無意識的に馬鹿にする傾向である。「僅に三マルク五十フエンニツヒですよ」など、云ふが三マルクは以前の三兆マルク、五十フエンニツヒは五千億マルクであることを忘れてゐるのである。

マルクの安い時にはチツプなどはすばらしく安かつたものである。私が此前獨逸にゐた時は一九二〇年でその時分には一圓が二十マルクから五六十マルクを上下してゐた時であるからそれ程安くはなかつたがそれでも、一マルク即ち五錢以下のチツプで非常に感謝されたことが屢々ある。然るに現在は停車場の赤帽にどうしても一マルク半やらなければ承知しない。一マルクは日本金六十五錢である。即ちマルクの下落によつて、一マルク以下を、輕視する觀念が一般の物價を途方もなく引きあげてゐる。

世界市價

獨逸の物價は世界市價以上に達して自然に調節されそうで、そう行かぬ。例外の例外をたどつてゐるらしい。第一クレディツト缺乏で輸入も思ふやうに出來ない（然し輸入は非常に超過してゐる）又租税の負擔が多く且つ店頭の物價は高利の利子を加算してあるから理論以外に高い正札がついてゐる。物價は區々である品物によつては日本よりも安いものがあるし、又物によつては日本より二倍も三倍も高いものもある。消費者たる一般人は世界市價を忘れて不注意に買物をしてゐる。

マルク

世界貨幣の王たる米國ドルに對して以來一ドルは四マルク二十フエンニツヒとしてマルクは十二の零を切りすてゝ爲替相場の眞中に飛び出て來た。おかげ様で閉口してゐるのは在獨の外國人である。日本の圓は米國に對して弱くなつてゐる爲め、日本から百圓の送金を得ても、手にはいるのは僅かに百五十マルクに過ぎない。戰前には二百マルクであつた。

マルクの歴史は獨國民經濟學者に氣の毒な程新しい問題を提供した。現在の經濟學は圖書館や大學の講堂だけでは勉強出來なくなつて來たのである。要するに印刷に印刷して貨幣を紙より安くすれば零はいくらでも付いて行く。紙幣の濫發は此上もない暴利の事業である。マルクの下落によつて獨逸國民は馬鈴薯の腐つた汁をやつと吸ふ位の困窮のドン底に陷つたがマルク下落の仕事に參加し之を利用することを心得てゐた資本家は猛烈に儲けたのである。

これまで下落して印刷を止めた。印刷を止めて新しいマルクを少し印刷した。

そしてマルクが安定した。レンテンマルクの奇術が功を奏したとも云へるが要するに印刷を止めて、少額の新しい紙幣を出すのが細工の中心である。經濟と政治、政治と權力、階級資本主義の面白い問題が横たはつてゐる。マルクの安定！やらうと思へばやれたことをなぜやらなかつたか、そこに資本家權力者の祕術がある。

一昔のマルクはどうなつた。収入は

百萬マルクの紙幣で壁を貼つた。百姓は氣張つてためて、トランクの中に一杯になつた。そのまゝ置いてあると云ふ始末。

新しいマルクはレンテンマルク、それ以後帝國マルクも出て來た。銀貨も其の他五十、十、五のフエンニツヒ硬貨もある。

無收入者

失業は多い。マルク安定後特に多い。マルクの安定は人心の安定と云ふよい結果を齎したが其犠牲も亦大きい。又以前のブルジョア家庭で收入を得る人がない家などはいよいよ本當に困つて來た。中產階級の貯蓄が皆無となつた國民とは今の獨逸である。一九一八年まで百萬マルクの貯金を持つてゐたものは、今日は一フエンニツヒの一萬分の一の財產家である。この分で行けば一二年後には以前の中產階級の乞食が無數に增加するであらうと云はれてゐる。

賃銀及俸給

俸給生活者の一ヶ月收入は百マルクより二百マルク三百マルクはよい方である五百マルクは飛び切り上等。勞働者の賃銀は一日二マルクから三マルク、よい方で四マルク。すべての收入の一部は稅として差し引かれる。俸給賃銀生活者の大負擔である。民主黨又は社會民主黨は賠償支拂の『公平なる分擔』と云ふ文字を用ゆるが、資本主義制度である以上『公平』なることは不可能で、要するに勞務階級が負擔することになる。一九二四年十一月頃に於ては俸給稅が國家歲入の七割を占めた。紙幣濫發時代に於ては更に多額であつた。即ち一九二三年の歲入の平均八割二分六厘が俸給稅であつた。即ち

一九二三年一月	九割
二月	九割四分二厘
三月	九割五分二厘
四月	七割八分七厘
五月	五割三分六厘
六月	八割二分四厘
七月	九割二分二厘
八月	五割五分二厘
九月	八割二分二厘
十月	八割四分一厘
十一月	九割一分四厘
十二月	九割二分二厘

マルクが安定して以來俸給稅が全歲入に對する率は減退した。一九二四年一月には四割五分三厘、二月には四割九分、三月には四割四分となつた。以來次第に其率は上騰の傾向を示し

四月には五割二分八厘
五月には五割四分二厘
六月には六割三分三厘
七月には五割六分一厘
八月には六割一分二厘
九月には六割七分

となつたのである
賃銀と月給の中から常に一割づゝ差し引かれることは重い負擔と云はねばならぬ。

農民運動の強點

布施辰治

一

先達て、細田君が來ての話に、一寸神田の本屋を覗いて見た丈けでも、農村問題に關する出版物が五十種の多きを數ふると云ふ事である。

次ぎから次ぎへの問題に引き延されて、多い時は、月に十五晩も汽車の中で寢る私は、到底さうした澤山の農村關係出版物に目を通す暇は無いが、及ぶ限りの努力を以て讀んで見る農村出版物の所說は、其の根本的態度に右傾左傾の立場を異にするものがあつても、僞る事の出來ない事實の指摘に示す、農村小作人の慘めな生活振りと、農業施設此の儘の疲弊困憊──延ては農村無產青年の離村に依る農村荒廢を憂へないものは無い。

農村の無產青年として離村し來りたる所の經驗から斯うした問題に思ひを潛めらるゝ私の考察は實に都會の農村か、農村の都會化かに關する重大問題に逢着する。

二

私の所信に基く、社會組織研究者の生活樣式と環境の單位とは、元より都會の農村化に依らんとして居るのであるが、農村對都會現在の關係は、滔々たる農村の都會化であつて、農村疲弊の重大原因は、マサに此の點にありとの痛感を深ふせしめらるゝものが甚だ多い。之を實例に徵すると、農村在住の地主は勿論、農村の小作勞働者でも、其の日常生活に必要なる農產物資を都會の販賣品に仰ぐので、農村で生產したもの、消費よりも、購買して消費するもの、量が多い丈け、農村生活者の負擔が、經濟的にも政治的にも加重せらるゝ事に爲つて農村に居堪たまらなくもなれば、又、都會が恐らくもなり終るには農村の都會化か、農村人の都會人化と爲つて農村無產青年離村の職業恐慌をも見るのである。

斯ふした、調査研究を各方面に進めて行くと、私共の眼前に展開せられて來る經濟的政治的行き詰りの社會時事問題諸相に共通する根本原因を發見するのであるが、之を要約して判り易く云へば、小作人の血と汗とに依つて生產する農生產業の增加が、少しも小作人の勞働に報ゐられずして、何ら直接の農生產にあづからざる農耕地を所有する地主と、農耕所用肥料[illegible]の供給者（多くは地主の投資して居る）との不勞利得として奪ひ去らるゝ、結果は、農村の疲弊と爲り、延ては小作人の生活難と爲つて、農村に踏み止まる小作勞働者が、迚も引合はないからと云ふ理由の下に、小作人側から働きかける小作爭議の惹起と爲る事が判ると思ふ。

三

が、しかし、こゝには經濟的にも、政治的にも行き詰つた社會時事問題の諸相に共通する根本原因が、無產勞働者の働いても働いても喰へないと云ふ生活難にあると云ふ事は、あまり多くの解說を要しまい、けれども、私の特に一言を要すと考ふる事は、同じく生活難を叫ぶ都會工場勞働者と、農村小作勞働者との間に前後した新興無產階級運動旗上げの遲速に關する留意である、同じく生活難を叫ぶ無產階級運動の旗上げは先づ其の程度の甚だしいものから前に擧げられなければ爲らないのが理論的考察の當然である。然るに、都會工場勞働者よりも、一層慘めな生活難に苦しめられて居た、農村小作勞働者によつて、小作爭議の形式で現はれた農民運動が、都會工

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地主勞働者の勞働爭議よりも遙に遲れて起つた事は、更めて云ふ迄もない事實である。

四

此點に就て、或者は農村小作勞働の無自覺を罵り鈍重を嘲り、以て小作勞働者の農民運動恐るゝに足らずとか、頼むに足らずとか云ふものもあるが、私の所見は最も生活難に苦しむ小作勞働者の農民運動が、却つて最も遲れた所に多大の意義がある、と同時に、至大の使命があるものと確信する。何故なら、小作勞働者の農民運動は眞に生活難の忍び得る限りを忍んで、忍び得ざるに起つたのだからである。其處には農業生産に從事するものゝ、自然に陶冶訓練せられた、忍苦の精神の働きがあるからである。

見よ、小作勞働者の農業生産は一年間の勞力を堪へ忍んだ上で無ければ、其の收穫が報ゐられない此の意味に於て、農村の小作勞働者は、惡く云へば氣が長いと謂はるゝが、長い間の忍苦の精神が其處に養はれて居る。更に一年といふ長い忍苦の勞働が、必ず確實に報ゐらるゝかと云へば、自然の暴威に屢々侵害されることがある、洪水に暴風に、或は旱害に侵される危險がある、さうした農業生産を冒險的にやつて行く者が、農村の小作勞働者である、十年に一度か、五年に一度の不作を覺悟して之を恐れず毎年繼續の農業生産を望んで、春から夏に秋から冬に、一年不斷の耕作を續ける農村勞働者たる小作人が、如何に忍苦的で又如何に冒險的であらう。而も、其の忍苦に勝ち其の冒險をパスして、自然の惡戲を信ずる處に、農村小作勞働者に何とも云へない心の强さがある。之れ實に、農村の小作勞働者は都會の工場勞働者よりも其の生活難が甚だしいにも拘はらず、其の堪へ得る限りを堪へて、堪へ得ざるに起つた所以であらう。故に小作勞働者の小作爭議を提げて起つた農民運動は、眞の徹底的解決を期する非ずんば、どうともする事の出來ない理、別端詰つた問題なのである。其の運動には餘裕がない、妥協の餘地がない、徹底的解決より外に解決の方法はない。此處に小作勞働者の提げて起つた農民運動は、無産階級運動の中堅として、殿軍として最も注目すべき所以があるのだと信ずる。

【十八頁中段より】

社會主義は起つて來る。社會主義をとりのぞくために、社會主義は外來思想であるからその思想を宣傳する書籍を自國に輸入するのを禁じたところで、その發生の根源たる社會生活をとりのぞかない限り如何とも爲す事は出來ないのだ。文明は吾々の生活にとつて役立つてこそその意義は存する。現在は文明の世界である。しかし文明であり世の中が開けて來たために吾々の生活はそれによりどれだけ昔よりよくなつてゐるだらうか。最大多數の人間は生活の鞭に苦しめられ惱まされてゐる。文明の光も吾々にとつては空しい他世界の光に過ぎない。ここに於て社會主義は生れて來た。かかる狀態を脫するために社會主義は起つて來たのだ。それは空漠なる思想ではない。現世界の最大多數者の生活のために緊密な關係を有する共通普遍の思想だ。吾々は決して外來思想や惡思想の名におどかされてはならぬ、それが吾々無産階級の生活を救つてくれる思想でこそあれ決して吾々の生活の上に壓かかる惡思想でないのだ。

曉に望む

中濱鐵

完全闇の中に朧な天井を凝視める

同志との昨夜の誓約を想ひ浮べる

外出の支度をする爲めに跳ね起きる

硝子窓を開けると炊事場から味噌汁のエーテルが浸び込む

鈍感な末梢の鼻ッ柱を刺激する

軈て、鐵網、鐵格子を感ずる

迷夢を手繰つてゐたのである

早春の曉である

俺は牢舍に獨り居る

しとしと降る五月雨

曉に降る梅雨

今日も亦、獄庭の運動を流す

退陣の蚤を追ふ

曉なれば——

初夏なれば——

血肥りの老いたる蚊と戲る

懐かしい支那人のやうな南京蟲も居る

寂しさは悲しさではない

樂しさは嬉しさではない

透み澄つた冷やかな靜默だ

物凄く冴えた鋼鐵の蒼穹だ

この曉の秋の核心だ

輾轉反側　幾百回だ？

鬪牛！

衣食住の斷擲？

犧牲！

戀愛行？

良心！

天界の科學の計畫？

神！

無限の自我の獲得？

悉皆冬の夜長の形相だ！

曉にもなれば——

對房の死刑囚が

今朝執行を喰つた

冷やかなる情熱

大山勝義

○

死を賭して

この叡智を世に示す

機會あらしめよ祈るはそれだけ

○

何かしら大いなる力に

吸はるごと

今日また街の賑はひに來ぬ

○

何かあれ

大いなる變化われに欲し

生活に倦きて今日もおもへり

○

掘られたる濠の深さよ

築かれし石垣の高さよ

城は聳えて

○

車捨て木蔭に座して

何事も思はず

痩せし腕を視凝めり

○

信ぜよと

神の教へをわれに强ふ男よ

昔はわれも然りき

○

世の中は

下らぬことの多きものよ！

凝乎と眼を閉ぢ深く息せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

見解を求めた葉書

最近の感想

天上、天下、宇宙、人生に關する感想一切、社會運動の事でも、又は大庭柯公問題でも、乃至は「進め」の惡口でも御寄稿を願ふ。

□ 杉原三郎

本を讀むことも必要でせう。併し自ら反省すること、社會主義の研究なり、運動なりに貧者の一燈を忘れない事が人間には大切と思ひます。そんな事は貧乏すれば又は人情の苦勞をすればわかることですが。

□ 小川未明

炎天の下を狹い街を車につけて喘ぎつゝ行く馬と人とを見る時に、また、暗渠の中に働く人を見る時に、勞働の尊さを感ぜずにはゐられない。そしてこの勞働は同じ地上に生存する人達によつて分擔されなければならぬのでないか。また、その人達の苦勞を輕んぜんがために、いろ／＼の器械が發明されるのでないか。この自明の原理が實現せられずに、汗を流しつゝある勞働者を見下して行く、不當所得者に對して、いつも憤慨を新たにする。

□ 上村進

天上、天下、宇宙、人生、社會運動、閥賊、大庭氏銃殺事件等一切の問題に對して『進め』で盡きて居る。人間は墓場へ進んでゐる人生は地球と共に地球の冷却に向つて進んでゐる。今太陽に黑點を生じたといへば太陽も何れ冷却の一歩へ進んでゐるのであらう。太陽の見分けには冷却してゐるのが澤山ある。それを連れて無限大の宇宙を進んで居る太陽系の結尾は果して何處へ逆進む。地球が冷却した時人類は死體のシラミの如く共に死んで了はねばならぬか、それ共死んだ地球を捨てゝ、安住の新居先を見出し得るであらうか。人間が人間を征服して愉快がつてゐる人間は地球の冷却と共に死なねばならぬ連中である。もし自然へ向つて自然を開拓し宇宙を征服するために「進め！」であると痛感させられてゐる。

□ 松下芳男

井戸の中の蛙と云ふ言葉があるが、これはよく／＼味はねばならぬ言葉だ。始終住んでゐる小社會から外をまるで知らぬ人間は氣の毒な程狹い考へを持てゐる。某博士の家へ吉原育ちの小娘が下女に來たが、彼は此世に女郎程偉いものはないと信じ切つてゐる其娘の考へを改めさせるに大いに困つたといふ話がある。がそれは餘り笑はれない。官吏、軍人、役者、學者、何れもその中だけで威張り夫が廣い世間に通用すると思つてゐる。我々は廣く世間を見ねばならぬ。

□ 吉田只次

進め社の福田狂二君と堺老との間に思想上に於て、最初は大分隔たりがあつた。福田君は政治的色彩が濃厚で、純然たる國家社會主義者であつて堺老は政治的色彩が少しもなくて、國家否定の社會主義者であつたが爲めに。それでも兩君は非常に親しい間柄であつた。福田が方向轉換によつて、堺老は福田君と同樣に、政治的色彩が濃厚になつて、純然たる國家社會主義者になつて了つた。それでは兩者の間が、愈々一層親しくなつた事だらうと思はれるが、事實はそれと反對で兩者の間は犬猿も啻ならぬ間柄となつて了つた。とはいやはや困つたものだ。

□ 新居格

七月五日の第三次日露交驩會でやつた松岡駒吉君の演說はよかつたと思つた。

政友本黨の片言に一矢を酬ひつゝ、無産階級の對露非干涉運動を默過した支配階級の非理を糺彈したところはいゝと思つた。

三宅雪嶺翁も後藤新平子も何となくヨボ／＼して來たなと思つた。

既成政治家の云ふ事は相變らずくだらないなと沁々思つた。

山川菊子と云ふ人の云ふことは嫌味で氣障りで、且つ變なことを云ふと思つた。

あんな日にボヤケたブルジョア階級を無産階級の力などと對照的に考へるのは愉快だと思つた。

□ 青野季吉

叩きつけて見たい程の感想もありません。一人でもいゝから信用の出來る同志がないものかなあ、と時に思ふ位のものです。

□ 渡部信義

世は愈々もつて不景氣、愈々もつて絶望である。社會の背からジリジリ脂汗が流れる。だがこの暑さの中に時を得顏に雜草は生え伸びる。コンミュニストが日和見主義者である？改良主義者であると熱氣を吐きかければ、いや日和見主義者とは一貫の理論を持たない者の事である、コンミュニストの中にも日和見主義者がゐると呻き返す。生え伸びる雜草、太陽の黑點に焼かされながらその生え伸びる雜草をむしり取るために炎天に苦しむ百姓は禍ひなるかな。全國無名の無産青年の力の結合、運動を切に思ふ。

□ 公憤生

自分一個の感想としては、いづれ借り物にはちがひないが、その借り物の口錢でいゝ氣になつてゐる雜誌並びに新聞（特に學藝）記者中の不良分子を何とかしなければならぬと云ふ事である。たとへば『戰知』の佐近某の如きは官費の師範學校を卒業してから小學校を何年とか勤めた男だけに、今は資本主義萬能でプロ文學を頼りに當り散らしてゐるがその幼稚さは恰も色青く頰こけたる質屋の番頭の如し。これは私憤にして同時に公憤なり。

□ 久保山武雄

精神ばかりを救ふ宗教にも賛成出來ないと同樣、物質ばかりを取りあつかふ最近の社會科學にも共鳴は出來ぬ。物質を與へて、貧乏が絶滅すると云ふことは誰しもが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

考へられないだらうと思はれるが最近に於て最も憂ふべきことは精神の貧乏でないかと思はれる。苦難を求める心、虐待を喜ぶ心、貧乏を嬉しがる心は地を拂つたのでないか。物質は有限である、有限なる物質を無限の精神を以て追求すれば行詰りに逢着するは白明の理である。私はつく／″＼『人柱』の故事を思ふて、昔の日本人の偉大さに壯烈な讃美の聲を放たざるを得ぬ。迷信だと笑ふもの、心が知れぬ。鐵筋コンクリートを有する現代よりは『人柱』になり得た『精神』の持主を無數に持つてゐた過去の日本に憧憬の心を寄する精神運動を起すレーニンにあらざるレーニンはないか。ロシアのレーニンでは人民は幸福にはなれぬ

□ 梅原 北明

一、凡ての運動は今後××行動に限ること。

二、現在のありと凡ゆる資本家が悉くコレラでくたばり、その息子が皆社會主義者であつて呉れること。

三、ア[illegible]

四、今のプロレタリアが本統のプロレタリアになる迄。

□ 安藤 國松

社會運動にたづさはつてゐる人は金と云ふものに對しては甚だ冷やかで、粗雜で、顧みないのは常であるが、事實はその金のための運動でない迄も金がなくては思ふ樣運動が續けて行けない。又金のない爲めに折角の名案も實行が出來ない。一例、宣傳の爲めに出版したパンフレットでも其經費の爲めには資金の回收を祈る。それを賴ツた樣にする運動家の多いのにあきれて仕舞ふ。折角の宣傳も出來ない事になる。

□ レフ●ヤマカワ

生活苦はジリジリと迫つて來る獨逸のやうにパンの缺乏こそないが米は不作を傳へる。マルク相場の下落こそないが金輸出禁止の結果は圓のネウチは落ちる。不景氣の失業、——炎天下百度の暑氣に熱殺されさうな民衆は、内部的には水も呑めぬ生活苦に殺されるだらう。暗澹たる獨逸共和國をばかり語る勿れだ。我國だつて國家は財政的にも外交的にも而して思想的にも破綻の危機に瀕してゐるではないか。獨逸表現派の深刻さが獨逸革命の産物だとする人間が何故我日本の表現派は獨逸のそれと較べてもつと輕快でなければならぬと云ふのか。その理由を解するに苦しむ。鐵砲を打ち合ふばかりで深刻なのでない。

□ 宮原晃一郎

問題の根元に喰ひ込んで、それを爲すにはプロレツトカルトの必要がありはしないか。保護色に隠れて、大いに、しかしてひそかに宣傳した方が、正面からやるよりもよくはなからうか。それには主義經濟がもつとよく自分を養ふことだらう。

□ 鈴木 楯夫

名古屋の勞働組合の首腦者と既成政黨の内の左傾家と社會運動をなし來つた者共が、今度一團となつて無産者の政黨を組織する運動を開始した。六月二十八日安部磯雄氏に來てもらつて演說會を開き非常な成功を遂げた。目下會員は五百名餘りに過ぎぬがもうこの地の一勢力である氣概を示して來た。今秋の市會選擧には二三の候補者を立てゝ進んで行く。之れに付いて自分の感ずる所はほんの一歩位進んだ運動が一番よく多くの人々に容れられると思ふ點である。自分はこの運動を馬鹿にせず各地の同志が進んでせられんことを切に希望する。もう一つ特に喜ばしく思ふ點は當地方のアナ系の諸氏が靜かにながめに居て下さる點である。諸氏にとつては自分等のする

女子も社會運動に參加せよ

北上 靜子

私は今此處で日本の女性、殊に無產婦人諸君と共に長い間の無產階級の生活、云ひ換えれば貧困の生活には飽き／″＼して仕舞つた故におたがひにこうした苦しみから解放されやうと云ふ事を考へなければなりません。

先づ第一に貴方方に考へて頂かなければ成らない事が有ります、此れから先私達が少しすくなくとも年を經ることにもつと人間らしく云はゞ今年よりも來年の方が、生活に餘裕が出來て行くと云ふやうな希望の有る生活は一體どうすれば出來るので在るかと云ふ問題で有ります。其問題に付きまして今日の產業組織が何の解決をもあたえないのではありません。其れは貴女方が自ら立つて問題の解決を求めないで、ほとんど他人まかせのような狀態に在るからであります。恐らくそうした事に氣付かない女性は一人も無いで有りましよう。だが長い間の習慣と因習が貴女方をして自由に氣付いた事を云はせしめなかつたので有りましよう。今貴女方が街を步く時よく出逢ふ。赤いネクタイを着けて長い棒を持つた靑年が街の辻なぞに立つて『日本は世界一の貧乏な國だから贅澤をせずに貯金をするように』と云つて、道を行く人々に煽動して居るのを見かけるでしよう。その靑年が多くの場合、貧乏の原因を若い女性の奢侈に依るかの樣に云つて、非難して居る事を知つて居られるでしよう。あゝした所謂、忠義なる靑年團の靑年達は、貧乏と云ふものが如何なるものであるか、と云ふ事を未だ知ら無い程お目出度いので有ります無產階級の娘の肩にかゝつて居るショール一本を奢侈だと云つて、攻擊する事を忘れない彼等の眼には、自動車の中で、美衣美食に飽いた、金持の婦人が芝居の俳優なぞと淫らな眞似をしてお金を湯水のやうに消費して居る事を奢侈だと思はないので有りましようか？貴女方も御承知のように、私も靑年團の辯士達が、曾て一度もそうした、お金持の婦人達のほんとうの奢侈を攻擊して居るのを聞いた事は有りません。彼等は、彼等自身の頭に付けて居るコスメチツクやポマードと、同じくらいのシヨールや白粉までを奢侈だと云つて攻擊して居ると云ふ事は、とりもなおさず、彼等自身が貧乏の原因を知らないと云ふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

仕事は馬鹿らしくて見てゐられぬであらうが多くの人を伴ふて行かうとすれば、どうも高い理想論ばかりでも行かぬから、これ位は大目に見て下さると見える。外の地方でも見る様に、叩きこわすと云ふやうな點のないのは心から嬉しいと思ふてゐる。最近の感想をそのまゝに。

□ 大橋生

人間生活の根底に潜み流れる『悲哀』に就いて最近より多く考へる様になりました。寂寞の徹底は發明とも創造とも更生の力とも變り得る稀らしいものだとも考へます。人間世界に於ける最高の存在は我である事を確信すると同時に最醜の存在も我であることを認めぬ譯には參りません。人間を嫌惡する心と禮讃する心とで一ぱいです。

□ 杉山元治郎

此頃は多忙と勞さで暇があれば眠い位で良い感想も浮びません。只此頃思ふてゐる事は農村の根本的運動は青年の教育から初めねばならない。其の青年の教育は寺小屋式の自ら感興の火を以て接することだと考へて居ります。出來るなればそうした農民學校を各所に作り、其處から出る青年により農村を改造したいものだと考へて居ります。右取敢ず回答まで。頓首

□ 鈴木金悟

理論だ日和見手段だ、小兒病的共產主義者だ、科學的日本主義だ陰謀撹亂者だ、墮落幹部だと全くブルジョアの瞞着擬態に突當つた様に俺れア文字通りの無智で貧乏者には更に見當のつかない標語や文字で引張り廻され危く眩惑からこん倒しさうな時、支那の兄弟達がドコヤラ國の帝國主義的資本家の貪欲飽なき搾取と抑壓に××××××××××××ことには俺ア實際蘇つた様で胸が晴々して了つたんだ。そしてこんな時にせめて旅役だけでも工面が出來たらなアと心から思ふんだ。先きには自由勞働のAやKこんどは自治會のIや印刷工のNがマンマと出かけたと聞いて羨んでゐたら上海を待つてゐた奴は同志でなくて……とはチエツなんて忌々しいことなんだい。俺らが國の兄弟達よ！隣りの兄弟の勝利は俺等の勝利なんだとはヨモヤ忘れはしまいなア。そウ一ツ俺等がオギヤツと一緒に握つて來た [illegible]

『萬國の勞働者團結せよ』はいつでも俺達の血を動かしてくれる。

□ 難波忠雄

文化の進んだ都市は餘程封建的勢力が驅逐され資本主義制度が實力を握つてゐるけれど農村ではまだ封建的勢力が凡てを支配してゐます。無智な農村プロレタリアは資本主義制度のためにどれだけ苦しい目にあわされてゐるか知れないが、この封建的勢力に鎖されて盲目にされてゐるのです。だから農村での運動は小作爭議や政治的運動の外に大いに啓蒙運動、所謂プロカルト運動の必要を痛感します。然し農民は[illegible]の前夜にある。

□ 小栗慶太郎

北里俊太郎は華族の族籍から除かれたが、親爺におかまひなしといふのは片手落ちだ。親は子の不行跡に責任があるかどうかなど騒いでゐた新聞もあるが藪でも喰へである。人に貶められるやうな事をすれば、みんな親のせいのやうな顔をする癖に、悪いことをした時だけ知らぬ顔をして濟まさうなどゝは虫がよすぎる。好いことにも悪いことにも一切責任を持たぬ、一人前になつた子供のすることは親の關知するところでないと云ふならいゝ。（だが不幸にして今日、さういふ話になつてゐないぢやないか。）子供は邪が非

證據で有ります。私や貴女方の家庭の貧しい原因をショール一本買ふお金や、白粉一個を買ふお金を貯金せなかつた爲だと云ふ、お金持や資本家の手先や手下のような世間評判の辯士の云ふ誤魔化しの貧乏を無くする方法に誤魔化されてしまはないように私達は私達自身で貧乏をなくする方法を考えなければなりません。

其こで最も手近な金持になる方法を皆様と共に考へたいと思ひます今日の若い自覺した女性は此の貧乏を呼ぶのに、もう貧乏と云はないで此れを錢の鎖と云つて居るので有ります。錢の鎖はそれがどんなに強くとも何時かは切斷る事を意味して居ますが、貧乏と云ふ名前が着いて居る限りは、絶對に無くならないので在ります。其れは此の世の中に貧乏と云ふ名前の反對に金持と云ふ名前が有るからで在ります。日本中の人間が皆金持に成つたならば、貧乏と云ふ言葉も文字も無くなつて、初めて日本が金持に成る事が出來るのであります。日本の國がいくら金持になつてもそれは日本人が皆金持になつたと云ふ事にはなりません例へば此處に百萬圓の金持が在つて其金持には六人の子供が有るとします。其百萬圓は六人の子供の百萬圓では有ません。父母の有る限りは父母の物です。其の百萬圓を何につかをうと六人の子供は何事も云ふ可き權利を法律は與へて居ないのであります。父母の死んだ後も父母の意見の無い限りは、今日の法律は六人の子供の所有とする事を許しません。唯其の内の男子が私有にするのです。斯くの如く今日の社會では有らゆる場合に女性は、男性の奴隷として何等の權利をも何等の自由をも與へられて居ないので有ります。以上は金持で有る場合の事でありますが、其れが貧乏人で有つたならば、直一層悲慘で有る。彼等には黄金の代りにつめたく冷切つた兩親の骸と借財が片身として殘されるだけで在ります。

貴女方が毎日讀んで居られる新聞の記事の中に卑しい家業をして居る女性の事に關する記事を、一件か二件は必ず見出され其の度に貴女方はほんとうに其うした女性が貴女方と同じ女性であると云ふ事に依つて、顏を掩はずに居られ無い程恥かしい心持に成られる事と思ひます。然し貴女方がそうしたセンチメンタルな心持から一歩踏返つて考えられた時、其の背後に勿論破落戸と云ふような者の强迫もあるでしようが多くの場合に貧乏が美しい若い女性を驅り立て、そうしたあさましい人間生活のどん底へ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

でも親のいふなりにされてゐねばならぬといふ野蠻な時代だ。新聞記者にウンと金をまいたらからつて如何に留任運動がうまかつたつてそれは子の不行跡の責任を逃避し得る理由とはならない。

□ 樋口見德

忽然と現れて忽然と消えてしまつた『種へ社』は大庭柯秋氏の統務問題を取扱つてボル系の諸君の憎しみを一身に集め、アナ系の諸君のカツサイを拍しながら武運拙なく山陰の一週に隱遁すること暫らく、松江市より旬刊平民新聞を發行して再起することになりました。

田舍には開らもなければ黨派もありません。又都會のやうに第二と第三の睨み合ひ、アナとボルとのイガミ合ひもありません。アナもボルも皆仲よく常面の敵に對して手を握りながら一歩々々近づいてゐます。

此頃は田舍で畑を耕やし作ら時々やつてくる同志と積み立てた乾草の上に腰を下して天下國家、階級社會を論じて悠々閑居してゐます。我々の同志はずゐ分ゐます。

□ 文盲生

一枚のシヤツ、一足のヅボン、其外に何物も身に着けない一介の労働者生活の安定と階級の平等を偶然になつて叫んでゐるのだ。この叫びが何の反應もなければ我々は××的行動に出るのみだ。

しひたげられた吾等祖先の爲めに死を前にして闘へ。特權階級と資本家との前に吾等は叫ぶ。權[redacted]の平等と資本の共有を！宗教とは

□ 吉田一

△進め社の最も弱點とする處は組織の力の缺けてゐること。

△社會運動については、大杉のやうな偉大な人物のないことを悲しむ。

△『閥族』に對しては、今後ますます猛烈にやるべきだと思ふ。

△人生は一六勝負。

△ロシアはこの二三年の將來にレニンズムとトロツキズムの爭闘より第三革命が勃發しよう。從つて共産黨に内訌、分離、崩壊作用が行はれやう。

□ 北澤新次郎

梅雨期の此頃、社會事象がヂミヂミして少しも快晴のない事を不滿に思ひ居ります。餘り忙しいので考へてゐる餘暇の見出だせない事を遺憾に存じます。

□ 神近市子

矢島楫子女史がなくなられた時、德富蘆花氏が『朝日』であつたかで發表された矢島女史の前半生の『罪惡』發位、最近馬鹿々々しい無意義なことに思つたことはない。蘆花と云ふ人がクリスチヤン臭味のぬけない僞善者でありさうなことは先刻承知してゐたが、あれほどに馬鹿であらうとも考へてはゐなかつた。女であつた楫子女史が戀愛をし、子を産まれたことに何の非難すべきことがあらう。その戀愛なり出產なりが不幸なものであつたら餘計に同情すべきではなかつたらうか。時代の風潮に何時も引づられ勝ちな法律でさへ、最近私生兒と云ふ名を排してその待遇をかへたのに對して、蘆花氏ともあらう人がそれを侮蔑をもつて見、從つて矢島氏の前半生の、『罪惡』と云ふやうなことを口にされるは心外なことである。普通の馬鹿は馬鹿ながら愛すべきものであるがクリスチヤンの馬鹿程始末の惡いものはない。

□ 梅津四郎

二三四と發賣禁止の厄に遭ふた進めを見る。繰返して見る事三度何處が當局の忌避に觸れしか、判斷に苦しむ。事實の國、階級の國、特徴の國の題目ヤタヂョたり。當

おひやると云ふ事實に思ひ至る事が出來るで在りましよう。亦事實上借用證文一本の爲に自由も奪はれ個性も蹂躙されて居る所の遊廓の娼妓なぞに至りましては、いさゝかでも心ある女性の血を沸立たせずにはおかないだらうと思ひます。其の他こうした事實の例を上げますならば如何程あるか人間の知識を持つて數えつくし、揚げつくす事は到底出來ないと思ひます。現に此れを手にせられた女性の中にも資本主義制度の今の社會が生んだ悲劇の主人公のような哀れな女性が居られる事と私は思ひます。其こで私は貧乏と云ふ物をなくするならばどんなにか多くの人々がそうした悲しみからのがれる事が出來るかと云ふ事に思ひ至る時、私は痛切に貧乏を呪はずに居られないのであります。私が斯う云ひます時に恐らく今日貧乏でない人は腹をかゝえて笑はれるでせう。だが私は笑はれる事をいとはない。その笑つた人が明日も金持であるといふ事をどうして私の前に見せる事が出來ましよう。今日貧乏であるといつて居る日本か、震災前の、歐州戰爭當時に今日の貧乏を考えた事があるでしようか。歐州戰爭當時の貧乏人で今日に成つて金持に成つた者の在る事を聽きません。その當時で貴女方や、私達の友人の中にも金持になつた者はあつたが、其の人達は今日では皆私達以下の貧乏人になつて居る事實を私は見ます。其こで一體どうすれば貧乏がなくなるか？といふ問題にまで貴女方や私達の考へが進んで參りました。然し貴女方が其の考へから一歩でも前へ足を進めようとしたならば傲然と貴女方の進路を妨げる怪物が現はれて貴女方の人間性を奪はうとします。先づ第一に貴女方に吝嗇を要求します。續いて貴女方の個性を蹂躙し剰つさへ貴女方の美を奪ひ取り甚だしくなれば、今日の青年團の云ふ事が實現して貴女方の肩からショールをも奪ひ取るでしよう。そうした事を貴女方が實行出來るか出來ないかは、貴女方も良くお解りであらうと思ひます。若しもそうした事を金持に成る條件として一定の期間の間繼續し返さなければならないとあれば大底の人間は金持に成ら無い先に死んで仕舞ふでしよう。そうした間違つた考え方は未だ未だ私達が資本主義制度の枠の中から一歩も外に出て居ない證據であります。

それでは一體どうすれば人間らしく生きて居ながら一切の不愉快な條件をなくして、金持になる事が出來るのかと疑はれるでありましよう、それは社會主義を貴女方が承認すれば良いのです。そこには何

局は刊行物の發賣禁止に依りて思想の普遍を防げるものと思ひゐるならん。頑迷なる當局者よ、我等が一人より一人と宣傳してゐるに氣が付かぬと見へる。

又斯うした者ありと思へば首もとがゾツとする。××講演會にて刑事予に問ふ『既成政黨はいつ出來たのか』暫し啞然たり。H署の巡査教習試驗の答案を見る。『メーデー－十月三日』『共產主義の國－英國』『水平社－水族協會』署長の批評に曰く『最近巡査の思想向上の著しきを認める事を得る』と。

□ 飯野狂生

僕の最近の感想と云へばアナとかボルとかコンミユニストとか同志だヤレ先輩だと吐かす多少階級意識に目醒めた面をした奴等のりベツ化か思想的墮落行動を見る時理解に觸る事はない。

□ 水野貝三郎

岐阜縣下の一部落に擾々として沸騰したかの町長選出問題を始めとし町税戸數割制定及び幾多の紛爭問題を續け町政改革運動の火蓋を揭げ遂に一般町民の意向に反對し、自己の利益と幸福を謀らんとする一部有力階級たる町會議員等數名に辭職を迫つたにも拘はらず今回町税戸數割案議に關し、七月七日に町會を召集した際、一般町民に不信任案を受けたる議員等は今や町民の前に何等辭職もなさず悠々堂々と町會に入り、席についた。しかるに町民派議員は會議場に於て曰く『一般町民より不信任を受けたる議員諸氏と議席を同じうする事は議案の輕重を問はず、町民代表議員として『ケガレ』である』と會議場を退いた。しかるに反町民派議員は一瀉千里の勢ひで議事を進行し議案を可決せしめたのであつた。予は町有力支配階級の如何に我儘勝手横暴なるか、言語に絶する。

□ 小牧 近江

今から十五年前の七月十六日當時十七だつた僕はおやぢに連れられて渡歐し、パリに置去りを喰つた。それから十年いろんな世の中を見た。ヨーロッパ戰爭も見た。今から十五年前の僕は骨の髓まで愛國心の塊りだ〳〵少年だつたのだがまるで夢のやうな話さ。

□ 五來素川

支那に於ける日英兩國人排斥運動は支那人が米國の後援を楯としての行動ならんも、若し此の勢ひ外にして止まなければ遂に外人全般の排斥運動となり、米國人も其まきぞひを喰つて、第二のボクサー事件に終るのではないか。左樣なれば日本の利益だから米も露も其處迄行かぬ日英排斥を實行しやうとし日英は一般排外運動にしやうとする此際面白い外交局面である。

□ 佐伯新助

最近の感想として別に持合せはありませんが僕等勞働者は或土木請負師に使はれ岐阜縣の飛驒山間にて數ケ月に渡り過激なる勞働に從事し、やがて事業も完成したが僕等の血と汗の結晶たる賃銀も未だになつても請負師は支拂はない。ために僕等は遠地へ多額なる旅費を使つて、その請負師に幾度も支拂方を數回に亘つて要求したるにも拘はらず、その資本主は永い今日に至るまで賃銀を支拂はないのみか、我等の要求を避けらの樣にウルサガつて相手にしないのである。如何に資本家は自己の利益と幸福を計るのみが目的であるか知らないが、僕達無產階級は働の賃

等の條件らしい條件もありません貴女方が人間らしき振舞をされるならばそれで充分なのです。と云ひましても社會主義もやはり資本主義のやうな、いかさま物だと貴女方は思はれるでしよう。社會主義の社會になりますと、もう貴女方は工場内の生產に從事する必要はありません。今日貴女方のやつてゐる仕事は、今の社會で仕事が無くて毎日〳〵遊んでゐる貴女方の夫や兄や未だ元氣な父がやります、すると貴女方は生活の事に就いて杞憂を抱かれるでしよう。そんな心配は資本主義社會にのみある問題であります、社會主義の社會ではそんな問題はさらりと解決が付きます。先づ貴女方が町を步いて考へて見るがよろしい。商店には貴女方の家庭にはいつてゐないもので必要な物が澤山あります。その必要な物品を貴女の家庭に必要なだけ分配されたら貴女の夫や兄や父の勞働時間を下げ、三時間四時間と云ふ今日では到底想像も出來ない程の短時間にしても生活は充分で在ります。そして貴女方が身のまはりに就いて振り返つた時、幾多の母としての個性所謂母性として必要な多くの條件が無視されて居る事に氣が付かれる事と思ひます。社會主義の原則は多くの母性を蹂躙して居ます。現代の資本主義に於いては資本なく時母性が蹂躙されて居るのであります。今日工場に勞働して居る女性の多くが不惟性に落ちて居ると云ふ事實が、母性を蹂躙して居る最大の弊害であります。尙ほ資本主義は比較に成らない程安價に勞働く女性をして、男子以上の長時間で働かしめ能率の上に於いても、男子以上なる事を強制して居る。そして貴女方を使用する事によつて、ストラーキやサボタージュを厳くやる所の男工を、つまり貴女方の父や兄や夫を工場から追ひ出して、毎日〳〵遊んで食ふ所の失業者にして仕舞ふのであります。貴女の夫や父や兄はけつして貴女に代つて米を買つたり家內のしまつは付けないでしよう。貴女が多く働けば働く程、依り多くの重荷をば一人で背負は無ければならないのです。そうした間斷なき苦しみの中にあつて一層女性が虐げられる日は、正月とおぼんであります。此の日が來ることに貴女方は暇黙の黒雲が頭の上から掩ひ覆さるやうな氣持がするでしよう。此の正月が面白くないのも夫や兄がぶら〳〵と失業して遊んで居る爲に家庭が面白く行かないのも、總て資本主義と云ふ化物が生んだ事であります。私達は此の資本主義を一つ×さなかつたならば、新しい心の愉快にする物をも見出す事も出來ないであらう。そこで貴女方が資本主義と云ふ化物を×して理想の社會を實現しようと思はれるならば、直く貴女は其れを××の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

級で露命をつないでゐるのであり其の賃銀も受取らなくて彼等は如何にして生活の道が得られるのか吾等はこれを考へると一日も早く現在の社會制度の大きな缺陷を除いてしまわねばならぬ事を痛切に感ずるのである。

□ 前田 森男

フエビアンに冬が入つた世の中だ。口と行ひは反對であるんである。の藝術の正體、藪屋のアナの爺田吾作生活を羨むと。武者鶴を羨むとしてはどうだ。梅雨は上つた雨は止まぬ。心中なんて陽氣な考へを持たんで居れ。又勤儉週間がやつて來る。米價のみ騰貴する不景氣、資本主義の魂はここにある。お隣りト海ですら帝國主義を排斥して居る。日本あたりも関税の廃止をやつてマルクス品をドッサリ輸入させよ、そしたら日比谷で騒いでゐる連中にも、汗にまみれて稼いでゐる田吾作の味を割愛しようぞ！

□ 長沼 明

コップ露大使が着任するともう私の聞いたゞけでも所謂日露交驩會なるものが二次も三次も是も所謂紳士淑女名流乃至労働組合幹部に依つて、いとも盛大に催された様だ。つい先日迄赤と云へは蛇の事もじまで恐れた連中は一體その以前は事態を認識する力のない無能力者だつたのか？最近の無產政黨運動者の態と對比して好一對これを稱して時勢といふか。

□ Y・T 生

近頃ひどくムカツ腹の立つたのは省線某驛の出札係の官吏根性である。雨の土砂降る中で十五分以上も待たせた揚げ句、ヤツと附近に居た人に銅貨を惠んでもらつて電車に乘つた。それもほんとうにないのなら文句はないが、現在目の前にいくらでも銅貨があるのにどう蟲の居所が惡かつたか知らないけれど無いと頑張るのだから癪に觸らずにゐられない。威猛高になつて、威張り散らす木ッ端役人位始末に負へぬものはない。こんな奴は到底出世する口じやあるまい。

先達て帝國ホテルで開かれた日露交驩會の席上で、山根菊子さんとやらのやつた演説は全く耳障りで、キザで、馬鹿氣たものだと思つた。

大庭柯公問題で一時は花が咲いたが、近頃はパッタリ火の消えた様な有様だ。日本の社會運動家は時々こんな煙火線香をやるから面白い。

ショシャとトウバッツは吉田ピンさんでなくとも必要の事。

自分の親しい同志なり、友人なりと離れる事は悲しい事だ、つらい事だ。國へ見送りに行く時など全く泣き出したくなる。

□ 倉本 晃南

今回最近の感想を何か投稿せよとの仰せであるが、目下の低く特記する程の問題もない。勿論吾々低級者には若しや有つても知る筈がない、最近の吾支局所在地に於ける雜感を述べて見たい「無產階級勞働者とは表面のみ乎」今回吾西大寺町にて町議改選を執行し其際に當ゲ無產階級有權者の態度が頗る疑問であつた。今回の有權者は普選に依つて權利を有したのであるから無產者の有權者が多數を占めて居た。是等の連中は平素はブロ階級打倒者であると稱し、の熱を吹き不平を稱へて居たのが、選擧の結果を見ると、有產階級の候補者が何づれも最高點で當選して居る。無產階級候補者は最少點し、又は落選と云ふ意外の結果を表した事である。要するに平素不平を稱へて居た無產階級者は或は物的利慾關係に惹き資本家や工場主と云ふブル階級候補者に走つたと云ふ情ない行動を執つたのである。是れに反し地主階級に反して無產階級を標榜した候補者を選擧し少數の混合員、及純農民組合候補者を後援して當選した事は無產者の得票を以て當選したのである。最も誇りとする所である。近來の勞働者と云ふと稱へて居る者等は全く當てにならぬものであるが、是れに反し農民組合や純ブロ階級者の結束は今回の選擧で地主や資本家等をして舌を捲かした事は明かである。唯、滑稽とする處は當地無產者が物質に走り、又は賄賂に共鳴する缺點等のある事を惜しむのである。

□ 布施 辰治

最近の感想として、特に私の心情を打つたものは、和田、古田、倉地、新谷四君に係る、爆彈事件の求刑です。

和田、倉地二君は福田雅太郎氏に對する殺人未遂の點で死刑を求められたのですが、大杉、伊藤達三人を惨殺した甘粕は、懲役十年、原敬暗殺の中岡が無期と云ふ大例さへあるのに僅かに一錢銅貨大の火傷を負はしめたに過ぎない殺人未遂の和田君に對する死刑は、其の求刑の標準に就て、强く世人の心情を打つものであつたであらうと信じます。

殺人未遂で死刑を求められたものは、刑法が制定せられて以來の記錄です。が、時利あらずして捕へられた最後の覺悟を決して居る和田、倉地君等の法廷態度は、より以上に私の心情を打つたが私の最近の感想です。

□ 中村 還一

思想の洪水——といふ感じが、フト私を捕へた。いろんな思想のオーソリテイに寄生する人々の喧騒。しかし軈て、思想の背後が何であるかを考へるだらう。

上に現はさなければ成りません。すれば兄や夫が失業して居るのに今亦妾が工場をやめなければ成らないのか？と云はれるのですか。私はけつして貴女にそんな亂暴な事をせよとは云ひません。出來得るならば、私は貴女に此んな所をいふに忍びないが今日より良く工場で勞働して下さい。そこで貴女も組織ある團體を造り失業して居る夫や兄も共に團結する事なのです。資本家は一人の階級意識に覺めた勞働者を恐れはしないが百人の勞働者が力を合して同一目的に向つて來る時に資本家は其の目的を充たさなければならない事を知つて居るのです。其の目的は貴女方の生活の向上と長い間世紀始まつて以來虐げられて來た人間性を取返し掠奪されて居た母性の解放へ、人類の理想へ凡ての人間としての希望の成就へと貴女方私達おたがいに兄妹よと呼びかけて合理合法の凡ての手段を持つて力ある團結の歩みを階級鬪爭の中に運んで行く

將……ナ！

今日の機械的社會組織が××し人間は機械と分離した純然たる人間の社會が誕生するのである。人間が當然至る可き人間の社會へ一歩あゆみを運ぶ時、××が飛び國家といふ××××××上に××が×り資本主義といふ××が此の地上から去つてしまうのであります。（完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

上海事變とその背景

上海にて　蔡六夢

一　末路の資本主義とその逃場

各國內で發展の餘地なき彼の資本主義國家が——歐米、殊に英米佛、東洋は日本、現在我々の眼前に一つの著るしき形勢をなして來た。それは中國に於ける商場競爭であり、經濟戰である。殊に歐洲大戰後の今日、その形勢が尙一層顯著になつた。即ち日本は山東滿洲を英國は揚子江流域を以て本場とする、そして中國の財源を搾り取る武器たる大工場を立てる。米佛は從來一定の地盤がないけれども大底の商埠に巨大な工場が構へてある。各資本主義國家は斯くすることに依つて今や斷れつゝある資本主義の鼻息を延續させて居る。見よ！中國の各商埠を——大連、青島、漢口、上海、福州、廈門、廣東、列强は『門戶開放』と云ふ甘いことを提唱して此等の門戶を强ひて開放せしめた。而して列强は一方に膏血を搾取する唯一の武器たる稅關を奪び取り、一方に巨大なる工場を立てゝ安價な賃銀で買へる中國の勞働者を蒐集する。

斯樣に從來幼稚であつた中國の工業は殆ど發達の鋒が朽鈍せられ自國內で出來た製品は、外來の製品或は外人の經營して居る工場で出來た製品と殆ど競爭の出來ない狀態になつた。又稅關が悉く外人の手にあるから、自國の製品を保護することが出來ないのみならず、却て國內で出來た製品を國內で自給する時、例へば廈門から上海へ、或ひは國內の製品を外國へ賣り渡す時、自國の製品に加稅して外國の製品を保護することになる。加之、列强は銀行買辦と、元道買收と云ふ狡な政策がある。來銀行は經濟的侵略の急先鋒で、今では銀行の勢力が强いので動もすれば中國政府を左右する程の把握がある。それから鐵道は內地の交通を便利にさせて、資源開發せらるゝと共に其の購買力が增進するからである。

尙一番恐めしい惡な政策は、彼等列强は國內の軍閥と結び、一方には軍閥を利用して人民を鎭壓し一方に軍金を供給して中國の內亂を擴大させる。斯くの如く外的には帝國主義者團が、內的には軍閥が居て二重搾取を遂行する。從つて工業は列强の投資に依つて發達の餘地がなくなり、農業は軍閥の內亂の爲めに殆ど破產の狀態になつた。爲めに大多數の勞働者が失業し、津々浦々に飢と衣の爲めに呻吟して居る。

二　事變の經過

今度の上海事變は全く前に述べた客觀的背景から演じ出した慘劇であると謂ふべきである。偶然ちやない、國內において帝國主義者團の存在が有る限り、被壓迫的階級は何時でも屠殺される可能を持つて居る。されば今度の事變は被壓迫的民衆が自覺的反帝國主義運動の一記錄である。排外ではない被壓迫的民族の眼前に差し迫つた民族解放運動である。

事變の原因は、上海小沙渡なる日本の一工場主が工人を慘殺した引ひて上海の學生及工人は堅く抗議したけれども何等効がなかつた五月二十二日は慘殺された工人の弔會を開く爲め上海大學と文治大學の學生及び一部の工人が出かけた。それが英巡捕の締爲となつて學生工人を捕へて牢獄に入れた。

この風潮が漸々廣がつて、外人が資本主義交ゆる帝國主義を以て中國々內に於て斯く野蠻無恥の事を敢てする、と云ふことを憤慨し五月三十日（被捕者の公判日）を期して、上海學生及工人は講演隊を組織して、帝國主義者團の暴逆を全市民に宣傳するに出動した。勿論『打倒帝國主義』とか、『廢除不平等條約』とか色々の旗幟があつた。學生講演隊が英租界なる南京路に沿くや、武裝英巡捕は學生を捕へた。學生の憤慨は極點に達して强く彼等英巡捕と戰つた。しかし學生は何にも武器を持つて居なかつた。英巡捕は遂に銃丸を放ち手に寸鐵なき學生工人途上の人を無茶苦茶に打つた。銃聲轟然、丸を食つたものが百數十名死者十數名あつた。（六月四日までの調査に依る）此の日の慘劇は斯うして終つた。

翌三十一日は學生及び工人は一方に遊行演說をし、一方に總商會に於て對策の方法を講じた、六月一日は罷市、罷工、罷課をした。英米の海軍陸戰隊が登岸した。そして水道射擊の他に、排銃、機關銃の丸が飛んだ。死體が處々に見えた。被傷者は病院に滿ちた。二日、三日續いて大屠殺をした。四日は兵隊が上海大學を包圍し、學生に卽時出校を迫つた。五日も上海大學と同樣に大夏大學南方大學がやられた。彼等は何一つとして顧みる所がなく、其の態度が益々强硬で、上海は彼等の大屠殺場と

太陽と共に行く

渡部信義

涯もなく空は青々とひろがる、
その青空を見上げて——
我々は太陽を仰ぐ、
輝く赤熱の太陽！
何處へ行く？
我々は人間だ、
我々は動物ではない、
ましてや奴隸ではない。
俺は行く、
流された仲間の眞赤な血を見、
その隊に行く。
おお、ぼろ服に血は滲む、
じつとしてゐる時ぢやない！
何處へ行く？
俺は行く、嶮しい坂を、
切石が突き出た嶮しい坂を——
いや石ではない、骨だ、
背骨だ、人間の背骨だ、そして人
生の脊髓？
暗い森では得體の知れぬ唸り聲。
搖れる搖れる！
ここは何處だ？
大海の中にぼつかり浮んだ鯨の背
中？
いやいやさうぢやない、
——俺は淋しい小鳥を踏みつぶし
た。
出て來い、土龍！
出て來ておまへの悲しみを陽にさ
らせ！
やがておまへは死ぬだらう、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なつた。

三 帝國主義國の一致進攻

我々は今度の大屠殺に依つて帝國主義者間の進攻の一致を見出した。今度の事變は日本資本家が工人を慘殺したのが導火し、英國が加勢して學生工人が捕捉し、屠殺した。軍艦がやつて來る、海軍陸戰隊が登岸する。米國も英國と行動を一致して軍艦をどつそりとやつて來た。兵隊も英國の隊伍に入つて活動した。佛國は進攻隊伍に入らなかつたけれども、やはり油斷が出來ぬと思つて自分の租界だけは完全に戒嚴した。軍艦もやつて來た。兎角今黃浦江に繫へてある各國の軍艦を見てもどんなに帝國主義國家の進攻が强硬であるか一瞥了然である。

然るにその反面に被壓迫的國家が同病相憐の止むなき現象が表れた。勞農露西亞は悲憤な同情書の外に視察員を派遣して來た。土耳其も同情の除文を寄せた。大戰に依つて東洋から手擧を引こんだ獨逸からも同情の書面だけは來た。屠殺者隊伍の日本も國がお隣りだけに報道が迅速だからお親しい勞働者諸君から懇切な同情書が來た。從つて今度の上海事變は中國民族解放運動の外に全世界被壓迫的階級の解放が加へられたのだ。

今や自國内に於いて發展の餘地なき資本主義國家が同一の歩調を取つて中國を指し向けて來た。而も非常なる勢ひを以て。されば全世界の被壓迫的民衆、殊に無產階級は、この中國の資本主義交ゆる帝國主義の爲めに饑餓せらるゝを安坐して見ることか出來やうか？否、否、必ず各國内に於て資本階級から壓迫せられる苦痛さを以て中國の無產階級に同情するであらう。されば各國内の無產階級的×××が遂行せぬ間は、中國の民族解放、一歩進んで無產階級の解放が容易でない如く、中國に於て資本主義交ゆる帝國主義の存在が有る間は、各資本主義的國家の治下に呻吟して居る無產階級の解放も容易でなからう。茲に於て、國際的無產階級の聯合か層一層必要になつて來る。この意味に於て中國の無產階級は末路に於ける世界資本主義の中國征服に抗戰する一つの重要なる歷史的使命を持つて居るのであるが故に特に中國無產階級は力一杯出して戰はなければならない。

外來思想社會主義？

渡部信義

『社會主義は外來思想である。』そしてこれを云ふ者は、權力階級資本家階級の御用學者であるか、その御用學者の說に惑はされてゐる人間共である。社會主義の思想は外來思想だ、惡思想だなどと云ふ事はとるに足らない一笑にふすべきだが吾か無產階級の多くの者がまだかかる說にだまされ惑はされてゐる事實を見ると、默殺してゐる譯にいかない。

彼等御用學者とその追隨者は、社會主義は外來思想である、そして次ぎに型の如く日本には日本固有の立派な思想がある、外來思想の社會主義に惑はされてはならぬと云ふのが常である。

いつたい外來思想とは何の事か字義通り解釋すると、それは外國から入つて來たところの思想とでも云ふか。成程、社會主義の思想は歐洲に於て名のりをあげたかも知れない。しかしだ、それではその歐洲諸國の、フランス、獨逸、英國等に於て、各その支配階級は社會主義の思想を自分の國の思想だなどと云ふだらうか？否、決して彼等はそんな事は云ひやしない。彼等も亦矢張りそれは外來思想であると云ふに變りはない。さうしてみると、いつたい社會主義は何と云ふ外國の思想だらう？そこである狡猾者は、それは猶太人の思想である、猶太人の世界統一の思想だと云ふ。ちよつと考へてみると、一理ありさうにも思はれる。で、ある者は先の說に惑はされなくとも、これに誤魔化される、だが歐洲各國に散在して金融界を牛耳つてゐる富豪の猶太人は何と云ふだらう？とんでもない、そんなものは自分等の係り知つた事ではないと云ふに違いない。それでは社會主義の思想をどうかたづければいいのか、何處の國のどの民族の思想なのか、宙に迷はざるを得ないのか、社會主義の思想は社會主義者の思想か？然らばその社會主義者はどんな人間か、何處の國の人間か。社會主義者は世界到る處の國々に居る。社會主義は各國の社會生活の中より起つて來るのだ。名のりをあげたのは歐州のある國であるにしても、そのものの發生はある外國の者の頭から割り出されたものではなく、その國の社會生活の中から必然と湧き上がつて來たのだ。で、他の國にもそれと同じやうな社會生活が存するとすれば、そこにも亦必然に （十頁中段へ續く）

しかしおまへのその毛皮が何かの役に立たないといふことはない。
ああ何の手で、
なぜ彼等は殺されねばならなかつたか？
その暗い怒りを
暗い怒りは胸を破る、
どうすればいいのだ、どうすればいいのだ？
俺はぶつつかる、
隅々と身悶いて立木にぶつかる。
誰だ？
ここは人跡未踏の森林地だといふ奴は？
何故ただそれ故にのみ恐れをなすのか、
何故ただそれ故にのみ神聖だといふのか、
俺には頑丈な斧がある！
考へてもみるがいゝ、
この何千年來の暗黑の中に、
さう我々が我慢してをれるものか！
どうして我々が梟だといふ？
仲間よ！
枯木のやうに痩せこけて塞ひでゐる俺の仲間よ！
だがおまへが、
その怒りに燃える時は美しいぞ！
燃えろ燃えろ燃えろ！
あゝ、その眞赤な怒りに只燃えろ！
兄弟！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

光を呼吸せよ

橋野昇

一、馬鹿の起源

太古には馬鹿はなかつた。一社會群の内部に於ては、皆が共働して仲よく暮らした。所が一群と他群との間の勢力爭ひや食物競爭等の爲に、兩群間に衝突が起つた。その結果として、何れかの群が負かされる。負かされて捕虜となつたものは、みんな殺された。併し、小供や女は殺さなかつたさうだ。女は生殖機關に供せられた。所が、日用品の獲得が段々困難となるにつれて、捕虜の女を利用する如く、男も何かに利用する方が利益だといふ事が分つて來た。それで、捕虜を殺さずに（とも食ひはうまくないさうだ）一の道具として、生産に使用することにした。即ち、奴隷である。奴隷は、獨立した意思を持たない。只、主人の命のまゝに動く道具である。併し、それは、自由人、奴隷と云ふ風に、本質的に區別がある譯ではない。只或事情が、自由人を奴隷に墮落したに過ぎない。併し、社會的意思作用能力は、完全に剝奪されてゐた。之れが即ち馬鹿の歴史的起源である。

生産機關の發達は、社會をブルジョアとプロレタリアの二階級に分割した、そして今では形式上奴隷はない。併し、或事情は、之等の階級即ちブルジョア、プロレタリア共に秘密的環境に陷つてゐる。或事情とは何か？それは資本制生産の魔術である。

見よ！今や、全世界は、瓦斯の充滿・陣痛・焦忍の堆積である熔爐の焔は無意識に燃ん上り、機械は目的なく動いてゐる。眞紅の焔も、轟然たる機械の音響も何等社會的意義のないものである。即ち、生産と社會とは別々の世界を張つてゐる。社會に貨物が有り餘らうが、不足であらうが、失業者がふえようが、そんな事は生産機械とは沒交渉である。只その主人たるブルジョアの命のまゝ動く。その主人たるや又、ノツポンポンである。危險な事だ。猛獸を防備なき市街に放した樣なものだ。みんなが死の强怖におびえてゐるかさもなければ安價な諦めをきめこんでゐるんだ。

全世界を、この强怖から、この沈滯から救わねばならない。

二、資本制生産魔術

全人間を馬鹿にしたのも、世界を馬鹿にしたのもこの資本のお蔭である。即ち、資本制生産方法は社會の爲の生産方法でなくて、個人としての資本家の生産方法であつたのだ。資本家はこの方法を行ふ事に依つて、うまい具合に懐を肥やしてゐる。それと反對に、勞働者はうまい具合に搾られてゐるのである。『稼ぐに追いつく貧乏なし』などと云ふ孔子式の教えでは最早追ひつかない。『稼ぐに追いつく貧乏あり』と云ふやうな變てこな具合になつてゐる、どうして、このうまい具合が行はれるのか？少し研究して見よう。

元來、勞働賃銀は勞働の價値に對する報酬である。從つて、その生産物の價値から生産費用（原料機械の損料等）を差し引いたものが勞銀である筈である。例へば、或工場で、一人の職工が一日かゝつて生産したものが七圓で賣れるとする。そして、原料とか機械の損料とかお總計で二圓とする。さすれば勞働者は、一日働いて五圓の價値を造つてゐる譯である。從つて、その價値に相當する五圓の賃銀を貰らうのが當然である。所がそれでは、資本家が立つて行かない。大きな家に住む事も醫者買も、妾蓄も、事業の擴大も出來ない。で、それらに必要な金を差引きして殘りの二圓なり三圓なりを勞働者にやるのである。實際、勞働者は馬鹿を見るのである。二圓や三圓の金なら五時間も働けば當然貰らへなくてはならないのだが、矢張り十時間働かされる。つまり、五時間はロハ奉公をやらされる。マルクスはこの一日の賃銀に相當する勞働時間を『必要勞働時間』と云ひ、ロハ奉公をする時間を『餘剩勞働時間』と云つてゐる。そして、この餘剩勞働時間から生じた價値（つまり資本家が取る部分）を『餘剩價値』と云つてゐる。又、この餘剩價値を勞働者からしぼり取る關係を『搾取』と呼んでゐる。

斯くして、毎日ひどい搾取が行われて行く。何の事はない、搾られる方は、營養不良で馬鹿になり搾る方は脂肪過多で馬鹿になる。こゝでみんなが、うまい具合に馬鹿になるのである。

三、資本と邪神

實際、このまゝでは、人間社會は亡びるより外に道はない。所が有り難い事には、脂肪過多症の方は其の上一つの邪神にとりつかれてゐる。即ち『貪慾』である。彼等は本來貪慾ではなかつたのであらうが、資本的自由競爭は、彼等を已むなく貪慾に陷入れてしまつたのである。即ち彼等は常に大なる資本を運用してゐなくては、より大なる資本家に踏み潰されて遂には、彼等も勞働者の仲間に蹴落されなくてはならないのである

どうしたんだ？
おゝ、もう死んだのか、
心と體と共に傷つき、
その顏は蒼白く、冷い體、眼は眠つてゐる。
かあいさうに！死んでしまつたか
おゝ、我々はまた一人を土の傍に……。
何處へ行く？
誰が泣くのだ、
誰が汗を流すのだ、
あゝ、そして何のために？
空は眞赤に燒けてゐる、
死が夕を彩るか、
死が夕を彩ることの何といふ悲しさ！
おゝ、死者を返せ！
我々の死者を生かして返せ！
生かして返せもせぬのになぜ殺したか、
おゝ、返せ、返せ、生かして返せ！
何處へ行く？
誰が通つて行つたのか、
誰が通つて行くのか、
俺は道を踏みまちがへたのか、
いや／＼決して――
我々が我々の親しい土の道を踏みまちがへる筈がない。
吹雪！吹雪！
耳をつんざき激しく唸る
その暗い吹雪の眞只中に、
しやにむにマンモス象のやうな大きな足跡を殘して突込んで行つた
もう歸つて來ない者たちよ！
俺はその悲壯な足跡を痛ましく考る

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それで、彼等は常に資本の增大を要求してゐる、所が、彼等の仲間も、資本の續かない限りは、どしどし勞働階級におち込んで來る。彼等は、自分の味方が毎日減りつつあるのも、そして、それらの人達か敵の陣營に降伏してゐると云ふ事も知らないで、毎日はげしい内輪喧嘩を續けてゐる。彼等は金の爲には敵も味方もないのである食へるものは、毒にならうと、藥にならうと腹の裂けるのも知らずに食ふのである。かくて、彼等は消化不良症に取りつかれる、彼等の血はにごり、心臟は止まる、肉は腐る。

所で、一方營養不良症の方は敵陣の混亂に乘じて、奮然立つて敵に止めを刺すのである。元來、彼等は搾取されてゐたから營養不良になつたのであつて從つて、搾取が無くなれば元の健康體に歸る。かくて、健全なる馬鹿のない社會が生れる。

四、科學の化物

さて、こゝで問題となるのは、新社會を構成する人々が、本來の虚弱な馬鹿であつてはならないと云ふ事である。我々は、一の條件の達成と共に即ち新社會建設と共に、再び健康體に復歸し得る資格を持たねばならない。それと共にその條件の達成方法に就ては絶えず理智の眼を曇やかさなくてはならない。うつかり、ブルジョアにお前を滅亡さす方法を教えてくれなどと云わうものなら、彼等は、よろこんで我等にわなを提供してくれる。さもなければ、『治安維持法』なんて云ふ恐ろしい超人が後で目を光らしてござる。

近頃の新しがりやの大學生達が學校で眞理であるべき『社會主義』を教へないなど云つて眞面目に憤つてゐるのを見ると、全く、噴き出したくなる。ブルヂョアの所產たる、そしてその管理する所の大學が、自分達を滅亡に導く爲め、殊更、進んで自己に不利益な『眞理』を教えよう筈がない。なんぼ馬鹿でも、敵に勝つ方法を教へて貰ひに行くやうなボンクラは我々の中にはない筈だ。迷信が信女に戀を送つたと云ふ昔話にあるような事を、今の世の中にもそう云ふ奇特な御人があると思つてゐる人間はおめでたい。斯くの如き人達も、資本制生產の產出馬鹿息子である。なんぼ迷信にしろ、味方の戰略まで敵に教えはしなかつたらう。

多くのブルジョアの教えが虚僞であつた事が、勞働者の自覺と共に明るみに出された。例へば、生產界の無政府的自由競爭が社會の進歩を助け、社會の幸福を增進すると云ふブルジョア一派のお題目が、如何に自分勝手な屁理窟であつたかと云ふ事は、その結果として起れる目前の數多の悲慘事が我々に物語つてゐるではないか。

勿論、科學は普遍である。併し今のブルジョアの所謂『科學』はほんとの科學ではない。自分に御都合のよい科學だ。科學の立派な贋物を着た化物だ。そんなものにうつかり惚れ込まうものなら、シッポで顔をなでられる。眞の『眞理』は我々が把持してゐる。我等は眞理と正義の爲に、非眞理と不義に對して戰わねばならない。だが、これからのこうした運動は、本能的反動やセンチメンタリズム（泣きごと）では駄目だ。堂々としつかりした科學の根據の上に立たねばならない。見よ！太陽は昇つた！窓を開け！新しき光を呼吸せよ！（完）

農村挿話

炎熱の候となつた、去年などは旱魃の爲め、非常に苦しんだが、今年はどうか。都會のブルジョアが暑い暑いと云つて山に海に避暑をやる時に、農村に於て百姓は稻の枯れるかどうかの瀬戸際で日夜の水掛けに奔走しなければならぬ。實際苗からして育て上げて來てもう少しの所で枯れて行くのだから堪らない。自分の子供が死んで行くのを目の當り見る時と同じだ。いや事實田の乾上がりは、即ち自分の鼻の下の乾上がりである。だから狂氣のやうになつて少しでも自分の田へ水を掛けようとする。それは慘憺たるものだ。

斯んな一つの話がある。だがこれは決してお伽噺でも創り話でもない、眞實あつた話なのだ。それはある小作人の娘に就いての事だ。彼女は日夜田の水掛けに出るのであつたが少しも思ふやうに水を引く事が出來ない、水を掛ける事が出來ないと、彼女は家に歸つて父から叱りつけられ、それ許りかろくろく食ひ物も與へられないのだ。彼女の父は若い時から虐められ通しの爲めか自分自身の娘にさへ親子としての眞情を失つてゐるのだ。資本主義社會内に於けるプロレタリアは凡てかくの如く饑ひなるかな。で、彼女は如何にしてよく水を掛け、そしてその日の糧にありつからうとしたか、諸君はどう思ふ？諸君は笑ひ出すかも知れないが、彼女はかう考へたのだ、一つ幽靈の眞似をして他の者を脅かして逃げさせて、そしてその後で水を掛けようと。そして彼女はそれを實行した。だが彼女の企畫は失敗に終つた、彼女は皆の者からさんざんに擲りつけられ、そしてその傷のために家に歸つてから、又父からもやつつけられたのだ。

へる。
あゝ、それを嘲り笑ふは
何の徒輩？
暗い怒りは俺を燃えたゝせる、
出て來い！
隱れたつてだめだぞ、
その隱れ家は何だ！
山鳥のやうに頭ばかり隱して、
いゝ氣になつてゐやがる！
あゝ、つぶせ、つぶせ、虱を！
このうようよした虱の群！
俺はラスコリニコフのやうにつぶしてやる、
爪が眞赤になるほどつぶしてやらねばならぬ。
誰が泣くのか、
誰が汗を流すのか、
ええ、空の飛行機も打ち落せ！
だが何時俺が太陽と共でないといふのか？
どんな時でも、
たとへ俺がどんな事をしようとも朝から晩まで何時俺が太陽と共でないといふのだ？
俺の影に訊いてみろ、彼奴はよく知つてゐる！
おゝ、何處へ行く？
青い空には灼熱の太陽！
俺は行く、
流された仲間の眞赤な血を見、
その贖罪に行く、
我々は動物ではない、
太陽を恐れる者は誰だ？
空にはいつも太陽がある、
そして我々は太陽と共に行く！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働階級の團結（承前）

鈴木厚

（一）

新社會は水の低きに流れるがやうに、必然的に到來するものであるとはいへ、而して其の社會に於ては、勞働階級が支配權を握ることになるとはいへ、勞働階級の各個人の自覺なくしては、其れは到底望むことが出來ないのである。それ故自然とまた一つの重要な問題が生じて來る。即ち其れは、勞働階級の團結といふことに關する問題である。

元來勞働階級の各人は、二つの相反する立場を有する。一は勞働階級の成員としての自己であつて他の一は階級とかけはなれた一個人としての自己である。而して階級成員としての自己は、明かに無產階級として共通の利害の下に置かれてゐるもので、從つて一定の義務と使命とを負はなければならないところの團體的自己であるも、しかし單なる一個人としての自己は、さうした義務からは全く自由な、何等共通の利害なぞといふことには頓着せない個人主義的自己である。謂はゞ前者は、社會人としての自己であり、價値ある自己であつて、後者はそれとは反對に非社會人としての自己であり、無價値な自己である。前者は階級をよりよくすることによつて、自己をまたよりよくしようとするが、後者は階級のことなぞは少しも念頭に置かず、自己の目前の利益をのみ考へる。前者は如何にも希望に滿ちてゐて立派だが、後者は絕望的で無氣分である。

さて、勞働階級の各人が、今茲に擧げた一階級の成員としての自己を生きず、或は生きようともせずに、一個人としての自己を生き目前の利益をのみ追求するならば其の時は如何に多數の勞働者が世の中に群がつてゐようと、何等互に氣が揃ふやうなことはなく、お前は西向け俺は東向くで、そこに階級としての大きな力は決して生ずることがない。而して其の大きな力が生じなければ、社會進步の動因である階級鬪爭は起らない。從つてまた新社會、即ち勞働者階級の社會は招來される筈はない。社會は、其の進化の流れは、流れ向く可きところに流れずに、資本主義的淀みの中に、甚だしく腐敗して行く。そして總てのものが墮落し腐敗し、社會は全く病的となり、生來の健康を失つてしまふ。

そしてそんなことがない爲めには實にそんなことがない爲めには、どうしても勞働者の階級的團結に關する自覺が必要とされるに至る

（二）

一個人の力が、或は太刀山の如く、或はギリシヤのヘルキユレスの如く、強大絕無なものであつても、其れは無きにまさる程度に大したものではない。數千數萬の勞働者の結合された力には、如何に太刀山と雖も、如何にヘルキユレスと雖も、到底及ぶものではないまして其れが數千萬數億萬の勞働者の結合された力の場合であるなら、其の力の前に立ち得るものは何ものもない。社會の進むに伴つて、このことを勞働者は徐々に理解して行くが、また理解しなければならない事柄でもあるのである。

如何に勞働力を持つ者が、この世の中で最強者であるとはいへ、其れは階級的に團結して始めてさういひ得ることなのである。一人や二人が、否百人や千人が、たとへ品物をつくり出さないで資本家階級を困らしてやらうと考へても其れは結局なんにもならない。個人的な力が大した役に立たないものであると同樣に、少數人の力も大した役に立たないものである。勞働階級全體が協力一致して、お互に助け合つて、無產階級としての共通の利害の爲めに働く時、始めて勞働者は、最強者となり、大なる力を生ずる。たゞ階級として團結した時に、勞働者は何ものよりも最強者となり、大きな力を生じ社會を淀みの中から、流れ可きところに流れしめ、不健康狀態から救ひ出すことが出來るものである。

されば從來は、『適者存生』の『適者』とは、即ち、生存競爭にうち勝つて生き殘る者は、專ら個人的に力ある強いものだとのみ考へられて來たが、其の訂正說が現はるに至つた。獅子や鷲のやうに猛々しいものでも、單獨に野原をかけめぐり、空を飛び廻つてゐたのでは、やがて其の種族は自然と亡んで行かざるを得ない。けれど小鳥のやうに或は野鹿のやうに弱い動物でも、其れが團體をつくり野を行き空を飛びして生活する時は、他の猛鳥猛獸なぞから犯されることが少くて、且つまた大氣にも大風雨の襲來にも容易に犯されることがない。其の種族は榮える。つまり『適者存生』の『適者』とは、單に個人的に力ある強いものではなく、最もよく團結して生存するものだといふのである。

こんな具合に團結して生存することか力強い有利なことであることを、勞働者が理解した時勞働者の生活はよくなる。五人六人の團

はかきだより

日本の社會運動の現狀……何も彼も頻に觸ることばかりだ。ケツの穴の小ツポケな連中ばかりが內輪の小ぜり合ひ許りやつてゐるのは全く見苦しい。ほんとうに日本に大衆運動なんてものが生まれるのは何時の事だらう。同志諸君の層一層の健鬪のみ祈る。（宮崎縣 井上破船）

暑さが加はるにつけ諸兄には御奮鬪の事と思ひます。無產階級政黨組織の聲は當町に於ても高く叫ばれてゐます。我々の鬪爭が日々擴大して行く事を望んでゐます。（新潟縣新發田 佐久間一夫）

『進め』本日落手致しました。田舍で見ると大阪や東京で見るよりもよほどいゝものに見えます。此頃はみゝづのやうな生活です。今年中はみゝづの生活を續けやうと思つてゐます。社の諸君は皆無事ですか。こちらの同志も健在です。（島根縣 樋口見道）

私は只今建築工事の人夫として毎日十時間づゝの勞働をして居ります。夜業があつたゝめこの間の集會に行けなかつたのは殘念でした。（東京青山 深海政夫）

久しく御無沙汰。政研支部は追々盛んになつて行きます。近くこゝから平民新聞を出す事になりました。山陰の運動もこれからがほんものでせう（松江 福田理三郎）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

結も決して強くはない。一工場だけの團結も決して強くはない。けれど社會を不健康狀態から、健康狀態に導く爲めには、どうしても五人六人の團結では不充分である。一工場だけの、或一產業だけの團結でも不充分である。また一國家だけの團結でも不充分だと說かれてゐる。諸君がよく御承知のやうに『萬國の勞働者團結せよ』といふ言葉があるやうに、世界の勞働者が團結するやうにならなければならないと說かれてゐる。さういふ說の背面には、現實的な充分な理由がある。考へて見るに資本といふものは、だん〳〵少數の大資本家の手に集まつて行く。それで一人の資本家はたゞ單に一工場一產業の資本家ではない。一工場一產業の資本家であると同時に、他の工場他の產業の資本家でもあるのである。從つて勞働者の團結も、一工場だけではなく一產業にとゞまらずに、もつと廣い範圍に及ぶといふことは自然な經路である。

また最近の世界の實狀に見られるやうに、資本はます〳〵以て、少數の大資本家の手に集まつて來てゐる。それで一人の資本家は、明かに一國家だけの資本家ではなくなつて、他の國家の資本家にもなつてゐる。即ち時代は金融資本家の時代に入つてゐるからである一人の資本家の資本の大きな網は全世界に向つて投げかけられてゐる。そして其の網の目の中で苦しんでゐるものは、單に一國の勞働者にとゞまらず、他國の勞働者も同樣である。そこでまた萬國の勞働者の團結が自然と必要なものとされるのであつて、この勞働階級の大同團結も現實的社會狀態からよぎなくされる一事實であるといふことか明かに判る。兎に角にも社會進化の流れを淀みなく流れしめるものは勞働階級である。社會を不健康狀態から健康狀態に進める階級である。であるからしてまた其の爲めに必要な自覺が大切だとされる譯なのである。　以上。

――農民に訴ふ――

(二)

谷口直平

(三)

資本主義は、其の發達の過程に於て既に其の崩壞者をつくりつつ、やがてそれが長じて自らの終結となり、必然的に崩壞し了る。とはマルクスの言つてゐる言葉である。

事實資本主義は無數のプロレタリヤをつくり・更に農村に逃亡者を出し、街頭に溢るる失業者の大群を出した。其の結果として現在至る處に勞働組合、農民組合の蹶起を促して共に無產階級の解放を標榜し資本主義の牙城を衝かんとしてゐる。

乍併此等最近の無產階級運動は旭日昇天の勢ひを以て發展して來たとは云へ、現下日本の彪大なる資本家の勢力に對しては、まだまだ微力なものと云はねばならぬ。殊に都會の運動に比して農村に於ける運動は實に物さびしい感さへある。全國幾千萬の小作人の中、小作組合員はその幾百分の一か。小作人運動の現狀の微々たるには我々は一考すべき必要があると思ふ。何が故に農村に於ては運動が簇々として發達しないか。

(四)

農村に社會主義運動が入りにくいことや、發達しない原因については種々な理由があると思ふ。第一には都會のそれに對して農村には資本主義その者の發達がすでに緩漫なることである。資本主義文明の偉大なる功績とも云ふべき大規模の工業生產は、主として都會に於て行はれ、加ふるに交通運輸機關の發達は商品の流通を益々迅速ならしめ、商業の中心は都市に

婦人運動に就ての私見

吉田はつ

私達無產階級婦人が其の階級戰に臨むに當つて最も強く意識せねばならぬことは、無產階級の女性としての自覺に立脚して所謂婦人問題を支配する觀念であらねばならぬと思ひます。

私は無產階級婦人が從來其の解放を叫ぶに當つて、往々にして女性が男子に對する對抗的態度を取り、男性の眞似事をするを以て能事足れりとする如き、誤謬も甚だしきへボ婦人運動家を排斥せねばならぬ事を全無產階級婦人に告げねばなりません。

然しながら、私は現在無產婦人が男子よりも一層深く其のどん底に突き落されて、事實上二重に虐げられて居るのを否定するものではありません。婦人も人間である以上男子の奴隷ではありません。妻たり母たるに先き立ち人間であらねばなりませぬ。けれども先づ人間であると自覺した私達の先驅は、私達無產婦人にどれだけの自由を啓いて與れたでありませうか。

婦人社會運動家と稱ふもの、婦人思想家を以て我れ人共に許す人達の唱ふる婦人解放論旨を以て、私達無產婦人の解放を意味するとの速斷は、結果に於て無產婦人解放を阻害し、無產婦人解放の阻害は、全無產階級解放を阻害することになりはしますまいか。

凡ての婦人問題に對して、私達婦人はある主義主張に大いに共鳴するところがあつても、それが常に全無產階級の解放に關係の有無を正さねばならぬと思ひます。國家社會の事に於て、無產階級の立場から考慮す可き事の多きは今更喋々を要せない事でせう。其の無產者の半數以上が婦人であつて、此の男女が共同の意志に依るにあらずして、何事も爲し得ざるの事實はあまりに明白であります。

女子が從來の如き男子の從屬物視せられずに居たのは僅かの一部に過ぎない近視眼流の靑い靴下を有難がる連中の寢言であつて、私達無產階級の解放戰に臨まんとするものには何等の交渉を要せないものであります。婦人が生活に要する一切のものを男子から得て來たのは、生活の資料を男子から婦人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

集中化され農村は唯單に、其の材料の供給の位置にしか置かれてゐないのである。資本主義が發達すれば發達する程、有產、無產兩階級の差は愈々顯著となり、兩階級間の差の著しくなつた結果は兩階級の衝突である。都會勞働者は、早くより資本主義的搾取をせしめられ、更に目前に於て露骨なる極度の搾取壓迫を演ぜられる結果、其の不合理なる制度の缺陷に早くも自覺し、貧困と屈辱は急速に反抗と變じ、露骨なる階級闘爭となつて現はれて來る。それに都會に集中されたる文化機關の設備は勞働者の智識を向上せしめて、新しき要求の基本をつくり、更に經濟的には全くの無產者たる智識階級の運動はまた總[illegible]に都會の運動を進めて行く。

併し之に對する農村に於ては、斯樣にまで鮮かなる資本主義文明の浸蝕を見ず、更に又都會よりして搾取せられてゐる結果、地主と小作人との搾取關係は左程盛烈なものではない。純粹なる經濟闘爭とも云ふべき小作爭議等も、近年著しく各地に其數を増加して來たことは漸く地方農村の資本主義化と、それに對する無產者の自覺を意味するものではあるけれども工場勞働界に於ける罷業の數に比してはまだ〳〵其の率は遙に少いものである。

それに資本主義の緩漫なる發達は有產者の露骨なる搾取及び支配の横暴を直接に見ることが少いため、其反抗的衝動を受ける程度は都會勞働者に比して微弱である。又文化機關が都會に集中されたる結果、無智と舊思想のみ農村に取殘され、解放運動の指針ともなるべき何等の機關もない爲め、現象に對する確實なる判斷を下すことさへ出來ないといふ樣なことも明かに一因となつてゐる。

次に農村にはブルヂョアの瞞着的教化の徹底と軍國主義的反動主義の色彩濃厚なることである。由來資本主義の走狗となつた、教育家、宗教家、若しくは軍人輩は、無論都會に於ても盛に赤化防止と反動化の爲めに努力を捧げつゝ來つたが、最近都會に於ける無產運動の愈々熾烈にして、到底止むを得ざるを見、それに手を燒いて、未だ左程にまで赤化されざる、而してまた前に言つた樣な經濟狀態に早くも目をつけ、一齊に農村に向つてその宣傳に手をつけ始めた。質朴で善良な農民は忽ち彼等の能辯に瞞着されてしまつた。彼等は在郷軍人團をつくらしめ、修養團青年團をつくらしめ、愛國婦人會を造らしめて、新しくて正しきものに進まんとする青年及び壯年の思想的向上を抑壓せしめ、軍國主義を利用していやが上にも反動的氣分を煽り、遂に農村をして、反動の地盤をつくらしめるに至つた。しかし之に瞞着されなかつた有意の青年達は都會に走り、工場勞働者となり、サラリーマンとなり、彼等は勇敢に都會に於ける運動の爲めに戰つた、かくてまた農村には暗澹たる資本主義治下に於ける二重搾取と反動の時代が續いたのである。

次には農民は結合する上に地域的に不便利なことである。工場勞働者は一つの工場で數百人若しくは數千數萬の大數が一緒に同じ資本家の下に苦難をなめつゝ日夜顔を合せて働いてゐるが、小作人では附近なる地域にまたがつて散在してゐる爲めに、顔を合す機會は稀で、何か特別な事變でもない限り可なりの數を以て團結しやうとするには中々困難である。それに自作農階級の關係に及んでは益々困難である。

其の次には舊くから同地域に住んでゐるので、其處に地主と小作人との間に傳統的の情實關係が出來上つてゐることである。之は、資本主義の可なり發達してる地方にあつてもまだ以然として此の地主關係が殘つてゐるのであつて、地主と小作人と言ふ樣な經濟的關係を拔きにした處の、舊くからの傳統的な情實關係、主從的關係である。（つゞく）

が仰いで居つたものにあらず從つて經濟的關係が性的關係を支配したるものでもなければ從屬的地位に置かる可き譯はないのであります。これは寧ろ婦人の權利であつて、其の男女の關係は對等であるので何れが元で何れが末と云ふ可きものではありません。

然しながら、私は男子が合法的にあらざる家族を有して居る事を容赦する程、寛大なる心を以てその野暮さを賞讃せられやうとするものではありません。私達無產婦人が階級戰に立つて解放を叫ぶのは、此の種の所謂[illegible]なる婦人を迎へやうとする不倫極まる社會つまり現在の資本主義社會の倒壞を期するのであつて、そこに眞の婦人運動があるのであります。

無產者解放が過渡期にすら入らない資本主義社會に於て女子が男子から經濟的獨立の爲めに職業の自由を主張する等は、資本家に對する好餌を與へるものであつて、寇に兵を藉すが如き結果を齎しはしますまいか。

私達無產婦人は經濟の手段を摑めて眞むしりをする人達でない事に氣付かねばなりません。

私達無產婦人は自己の階級に目覺めたならば參政權、いや母性の保護、いや職業の自由等と文化主義者の尻馬に乘つてそんな枝葉の問題に時の浪費することは、彼のセネカの如き光陰を貪る事を以て德行なりとしたるものでも、到底許さないところでせう。

全無產階級が解放されずして何處に戀愛の自由がありませう。心臓を刺して置いて人工呼吸を施しても駄目です。人は智識にのみ依つて生きては不可ません。時に無產大衆はそうです。

無產階級の解放などは極めて簡單です。唯、階級と戰力の問題です。然も婦人が、[illegible]行使する[illegible]科學も宗敎も[illegible]ありませぬ。たゞ無產者が解放されたときに母となり、然らざるときは母たることを拒否すれば良いのです。

私達婦人が母としての代價を仕拂ふのは完全なる[illegible]であらねばなりませぬ。私達婦人が母となるのは、權利であつて義務ではない。他からこれを強ひる可きものではない。

母となる、ならないは一ツに私達婦人の自由であつて何人の容喙をも許さないのであります。

靈魂を敎化する大切なる婦人の天分とか、私達にあるそうですが、固より無產階級が解放せられると云ふ[illegible]が前提であつて、でない以上は靈魂の敎育者も辭職の外ありませぬ。

私は筆を擱くに當つて今一度全無產階級婦人に告げねばなりませぬ。それは無產階級が解放せられる迄は如何なる美麗な神秘の名を以て迎へらるゝとも、斷じて母性と云ふ婦人本來の代價を仕拂はざることを。——

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

地方の同志諸君は其の地の農村運動勞働運動の形勢、勞働爭議、小作爭議の情況並びに諸君の感想を餘り長いものに渡らない程度でどしどし寄稿して下さい

島根縣の運動

赤松朔雄

無產階級解放の思想は最早何れの地方でもその多少は別として浸入しない處はない。

私は山陰の片田舍に於ける或村の青年運動の實際に就いて述べて見やうと思ふのである。

吾々はなる程本誌に依つて、又他解放運動雜誌に依つて、無產民衆の覺醒の爲めの高遠なる純理論を聞く。然し私達はその理論を實際に適用するに當つて、ハタと當惑すると共に、眞の實際運動に關する知識を求めてやまない心が動く。この意味に於て、草深い片田舍の地味な實際運動をお話する事を相當意義ありとなすものである。

吾村の青年會には事業の中に『巡回講演會』がある。又、この青年會には圖書館があり、團の支部には色々な事業があるが、又支部としての毎月の演說會もあり、圖書購入の事業もある。勿論この青年會は官制青年會である。惟ふに吾々は階級意識に目醒めたからと云つて別にそれに對抗する會を組織するの要はないばかりか却てそうすることは種々なる點に於て有害であり、それよりも既成青年團の本質內容を變化せしむべく努むべきであらうと信ずる。

依つて先づ吾等は雄辯會、巡回講演會を利用して解放思想の宣傳に從事した。勿論その態度はセン動的である樣に努めた。青年は純眞である。吾々の意志は青年の潛在意識にふれて直に多數の同志を得る樣になつた。今や青年會の此の種の會合にはソシヤリズムの理論を說く者半數を以て數へるに至つた。吾々は青年に社會科學の研究の最も必要なることを說く。青年會には官憲の壓迫がない。吾々は如何なる理論も赤裸々に、勿論研究的態度で說く事が出來る。

斯くて吾々には青年に向つて、潛在的に思想の宣傳に努めた結果數年ならずして官制青年會の內容を變化せしめることに成功した。

尙今後も斯かる分子が會の牛耳を取る樣になれば遠からずして必ずより一層の目醒ましい覺醒運動に成功出來樣と思ふ。尙又、青年會機關紙に就ても、現在では殆んど吾々全部の同志が斯組織を握る處となつてゐる。

尙雜誌は、改造、早稻田文學等を交み購讀。毎月購入物は『進め』及び山陰新人總聯盟機關紙『奔流』などである。これはほんの最近に於ける青年會一支部の狀況である。

先に政治研究會島根支部が設立せらるゝや、進んで之れが設立に携る青年會員があつたと共に、設立と共に入會した青年も他村に比べてはるかに多い。斯くて吾々は地味な農村青年覺醒運動に根強い戰術を以て臨んでゐる。そしてやがて來るべき日の鬪ひのために充分なる準備に怠りない。

先づ假面を剝げ

谷宗生

自由と平等を蹂躙掠奪する、彼の橫暴なブルジョアの壓迫に忍びず、憤慨と呪咀との叫び聲は、宇宙の隅々の地平線上に流通しつゝあるに反し、社會主義の假面を冠つて、無產階級の血汗の結晶を搾取する無道、殘忍、衝暴極まる惡魔が無產階級解放の戰線に現はれ暗中飛躍することは、同志諸君と諸々社會主義者の先覺と共に痛歎に堪へざると同時に、此れを滅ぼすに全力を注ぐのであらう！

所が、近年、僕等の都市に於て所謂何なる社會事業たる〇〇事業を營む者が、社會主義を標榜し沒覺の勞働者（職工）を搾取して、自分の腹を肥す狡敵が出馬しつゝある。

厭者は、近日朝鮮〇〇港勞働總同盟會員が、勞働學院建築に就て寄附を請求したるに、漸々正體暴露的所致があつた。

其れは、厭者が該各の請求に對し『僕は社會主義者であるにも係はらす、此の世の中は、僕を資本主義者と見做すので、貴公の請求には應ずることが出來ない』と云ふことである。

同志諸君！余は厭者に對し、斯くの如く忠告す。

君よ！若し君か眞の社會主義者（卓上に於ける社會主義者でも）であつたら、一般無產者の兒童の爲に施す事業に對し何うして同情がそんなに薄いのか？君は〇〇と云ふ鄕村でたつた。二番の富豪となり且、僕の市に來りても、〇〇所にとなつて居るのは誰の功績であると思ふのか？覺悟せよ！君の全財產の塊が千萬の無產者を餓鬼化ぜしめた產物なるを一向知らんのか！

勿論、此の世の中で君を資本家階級、即ち搾取階級の一分子と見做すのは、正當たることであらう！然し、其は君が、現在資本家の地位に在りて、職工の血汗を吸ひ込むからだ。

若しも、君か眞の社會運動者たらんと欲せば 先づ君の冠つた假面を剝げ！その假面を剝ぐ方法は何でもないことだ。唯、君の全財產を無產階級の爲めに……、然うして、陣頭に出馬し、數多の無產階級の爲には、飽迄も奮鬪し、以て、犧牲をも吝まず、努力するとの決心をなす。その瞬間に於て始めて我無產の味方になるのだ。

それこそ、君の頭上には、不時の薔薇のフラワーが永遠に平化なる風を抱くだらう！。

君よ！今後からは、是非共、今迄の罪行を切々に悔み給へ！、又卒直に告白し給へ！

我無產大衆には、何より強く、何より硬く、何より銳い、此の××があるぞ。

丙午と私有財產

山口安德

薄幸に泣く多くの丙午の女性ほど悲慘なものはない。丙午の女性に對する世の女の腦裡に深く植付けられてゐる因襲的相言葉―『夫を喰ふか、子を喰ふか、財產を喰ふかの三つの內の一つを喰ふものだ』と世の人から最も恐れられ忌み嫌はれ、あつたら人生の盛りを人間的生活をも求め得られないと世をはかなみ、死を選ばしむるそ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の罪は、ま[illegible]
[illegible]
この[illegible]
同志よ！無産者解放のために戰ふべき秋だ。

開港に大風を起せ

辻本良造

もう五年も昔になるが神戸の相生町あたりに「ロンメ」と呼ぶ社會運動の團體がありました。ここにはボルの人達より、むしろアナキストの連中の方が多く集つてゐました。その上、このグループを取まいて、素性の知れぬ不良青年少女の群が盛んにお出入りをしてゐた樣です。そのために、相當な運動をやつてゐた半面には大變風紀を紊してゐた事も事實で、附近の人達はいろ〱な取沙汰をしてこの得體の知れない男女の群を驚異の眼で見て居りました。警察の方でもこの「ロンメ」組には相當手こづつてゐたらしいです。

其後「ロンメ」もいつか自然になくなつてしまつて、これらの分子も四方へ離散してしまひました。現在では、此の地に確固とした思想團體の一つとしてないのを非常に嘆かはしい事に思つてゐます。古い幸德時代には「神戸平民倶樂部」と云ふのがあつて、可成り熱心な運動を續けてゐた事が、幸德等の「平民新聞」の中に書かれてありましたが、とかくこの頃の社會主義者は眞面目一方の上、人道主義的觀念を多分に持つてゐた樣で、分裂や勢力爭ひに日も足りない今の運動家と稱する人達に比べて、遙に敬虔な心持ちが窺きます。

神戸の人々は一體に浮つ調子で虛榮心が高く猫も杓子も外人臭味のする事に頭腦の方はあまり明瞭でないから困つたものです。殊に居留地の外國商館あたりへ勤めて居るクリスチヤン臭味の若い人達に至つては全く鼻持ちもなりません。私はこんな人達を見る每に、いつになつたらこの思想を持たぬハイカラさん達は醒めて來るのだらうかと心細く思ひます。

社會運動なり勞働運動なり、乃至は組合運動などにたづさはつてゐる神戸の先覺の人達の中にも斯うした浮つ調子な分子の居るのは殘念なことです。この開港の思想運動が他の都市に比べて、著るしく振はない事を私は郷黨のために悲しみます。アナだボルだ日和見だと、どんな立派な仕事をしたか知らないけれど、今更そんな嫌味たつぷりな理解性を出すには及びますまい。それよりも各自の根強い結束を計るために、しつかりした團體の出現が今の場合、最も必要ではなからうかと常にこの地の人達に希つてゐます。

伸びて行く

鄭然圭

永く踏み棄てられたバツタルカツプにも時は來たのだ。何處までも虐げられた彼女は今生きかへらうとしてゐる。そして黄の花片は、何處までも赤く〱生まれかへらうとしてゐる。そして彼女は踏みにじられたがために、内訌し持つた惡を全世界に向つて吐きこまうとしてゐる。さればかつては社會から虐げれた神は、今は彼女の前で命乞ひをしなければならぬ時は來た。我等は我等の代で、それを眼に見ることが出來る。されば虐げられたバツタルカツプよ、何處までもお前は強く〱生えあがれよ。嵐はお前をより強くするばかり。吹雪は一層にお前が心に燃の焰を焚かすばかり、氷地をはりつめて、ます〱お前の存在に大なる意義がある。

朝鮮における共產主義運動團體は、昨年一ぱいまでゞ、敵との第一回戰を終へて、第二回戰のために、準備と整理とに忙殺されてゐる。されば彼等が、如何に宣戰し、食糧攻めより脱し、軍用金を得て同志の團結力を倍加し、戰鬪力を充実せしめ、以て如何なる陣形と、如何なる戰略とを以て火蓋を切るかは、そこに未來の朝鮮の全運命が懸がつてゐる。彼等は過去に亘つて、帝國に對する多くの經驗を得た。さればこの經驗が果して如何なる戰法を產みだすであらうか。朝鮮全民衆の注目の全視線は、今や期待に憧がれてゐる。

駄筆

梅津四郎

俺はマルクスの傳記を讀んだ。其の中に夫人の認めた書簡の一節に依ると家賃の滯りのため「二人の執達吏が入り來たり僅許りの所有品は寢臺も襯衣も上衣も凡てを差押へ、尚幼兒の搖床も、泣き悲しみつゝ側に立ち居たる二人の娘の玩具も差押へた。」

マルクスさへ此の樣な悲慘な境遇に落入つた。だから俺の樣な者が解放運動の實際に從つても誰が喰わせて吳れるだらうと實は思ながらも××に務めてゐる。

夫が共産黨事件から總同盟の分裂となり共産一派が豐富なる財力を以て無産階級の解放運動に活躍して來た。此では俺でも飯丈は喰つて行けると思つた。俺の樣な奴でも喰わせて吳れるだらうか。而し考へて見ると自分の意思にもない事を金の爲め、商賣氣を出して解放運動に從ふ事は俺には到底出來ぬ。俺は未だ若い。俺は未だ正直だ。俺は純眞なる勞働者を欺く事は出來ぬ。解放運動の先覺者が商賣氣を出す事は勞働者を益々悲運のドン底に落す事だ。此は解放運動の墮落だ。腐敗だ。マルクスさへ喰ふや喰わずの事があつたにも拘わらず、今の奴等は俺達をダシに買ふ、飲む、打つの道樂をして居やがる。俺は克く考へた。矢張り俺等は俺等でやらねばならぬ。商賣人は何と云ふと俺は俺として理想の殿堂を目差して努力する。其れは一番賢明な策だ、來れ若人！理想のために自由のために、俺等は俺等でやらう。

青年團の分裂と青年の覺悟

（特に下麻生青年に告ぐ）

水野貝三郎

夫れ青年は同胞相愛、相互扶助の大精神に立脚して自己を訓練し自己を創造して自己所屬團體を匡[illegible]と快樂に於て完全たらしめんとするにある。眼を大きく開きて社會相を顧るに急變せる環境は切々として吾々青年を促して止まず。今や吾國に大なる新時代は到り一般社會は第二の維新は急々として

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

迫りつゝあると絶叫され吾等無産青年に對して偉大なる奮起を要求する。然るに我國の官製青年團は如何なる状態なるや、青年は青年としての其の使命を自覺せず未來の國に光輝ある新社會の建設の要諦を究めず唯々惑の中に低止なす。是れを岐阜縣下の片田舎進め岐阜縣一支局の附近にある下麻生町官製青年會の徑路の實例を引例せば去年度に亘る不祥事即ち第三區選出本縣評議水野貝三郎及奥村の除名事件及團服裝統一に端を始する醜聞作及基本金消費財政の行き詰り等の幾多の重大問題は表明せる亂脈亂調子にし是に加之人心上腐敗即ち支會に執着し何等町青年團の地位發展向上存在を判明せず我利々々亡者的の不合理に滿足得意となす等是である。然して其の間吾は名人士の介在を見出す事現場面に於いて明かに語るものである、即ち大正十四年〇〇〇日を期して本下麻生青年團が分裂せんとする現状を鑑み統一を計らんと賢名的人士の勢ぞろひにて其の顏ぶれ役者たる小學校長を初めとし駐在所巡査及島〇〇村長其他の町有力階級は毎回青年團上を召集し町青年團紛爭問題を完全に解決し青年團の統一をはからん爲めあらゆる手段を以て遂に臨時總會を開催した。私も青年團の一員として會場に於いて僞善的人士は云ふ迄もなく、權力を濫用せし官僚と激論を續け壓迫手段的に統一を計らんとする人士にあく迄も鬪爭したる一人である。今や其の有力階級の運動策も結局ユートピヤーに終り遂に下麻生青年團は消滅の運命を餘儀なくされ長い間當下麻生青年團は分裂し無政府的状態であつたが時代の時勢は明々として進み其の社會進化の必然は雨後松茸の如くいたる處に自覺ある無名の青年の出現を見、無産青年の運動團體は生れ其の運動を開始して居るのである。やうやくにして本町にも自覺ある無名の青年鬪士表れ本町に續々と沸騰したる町政革進運動等の幾多の問題が導火線となり光輝ある無名の青年鬪士は下麻生町青年團内部改造統一を青年自身の手により造らんと運動のノロシを上げ悪戰苦鬪を續けつゝある。青年諸君よ此の亂脈亂調子ある本青年團を復活する爲めに團結し眞に光輝ある青年團を建設する時やがて新しき共存共榮自由樂園の天國が建設されるのである。

頭に浮ぶまゝ

東山　實

俺は山間の小作人だ。無産者だ。元より教育も智もプロだ。日夜勞働して居て文章など作つた事は無い。而し近年農民運動が一層熾烈と成り其の度を加へ到る所に小作爭議が起り、農民蹶起の火の手を上げて來た。今や我國にも無産階級解放の際漸く到る處に無産政黨の組合が組織され資本主義の鐵鎖より解放さるべく戰線の途上に立つて居るので在ります。私は一言吾等の同志無産者小作人諸君の異口同音に叫ばるべき一文を書き無知識ながら愚見を少し述べやう。とは云へ無智非才何も出來ません。農民運動に據つて地主は經濟上大痛棒を與へられ、今一つは過去に於て續けられて居た地主の社會的地位が農民の階級的自覺に依り失墜しつゝあり、尚今後共運動が熾烈になればなる程斯うした色彩が濃厚になるであらう。之を見て取つたる狡猾なる地主は心窃に策を巡らし時代の思想に順應せるかの如く裝ひ土地開放といふ旗幟を揭げて、資本家政府と相提携して小作農創定といふ一策言を口に自己の所有土地をば高價に賣却せんとし、そして資本を商工業に投じて都會へ移住し、徐ろに農村振興の時機を俟つ心組なのであらう。これに對して苦しめられつゝある小作人等は對應すべき戰術を定めねばならぬ。やがて農民運動の反作用として農村で大地主が土地を賣却せんとするは目前の事實だ然らば其の土地は窮極何人の手に落着くであらうか。それは政府や地主の奴等の目論見通り俺等小作人の手に歸するであらう。しかし根が貧しき苦しき小作人が奴等の土地を買取るには先づ年賦の償却によるかそれ共勸業銀行其他から資金の融通を受けるの外はない。何としても小作料の鐵鎖を利息の鐵鎖に縛り替へらるゝのみだ。そうして利息は小作料にくらべて遙に苛酷である。まして政府よりは自作農に非常なる重稅を課せらるゝのであるから其の爲め無理算段をして自作農となつた是等農民が到底いつ迄も保有し得ぬ時が當然來るべきである。其の時は奴等地主が嘲笑を以て報ひるであらう。そうして奴等は再び弱味に付け込んで俺等同胞プロの土地を二束三文に敲きつけて買取り、凱歌を謳歌するであらう。故に現在の吾等農民は將を固くして決して奴等地主や資本家政府の自作農創定と云ふの策略に乘らず團結して來る可き周圍に光明の週る日を待ちつゝ運動の進展に努め様ではないか。此の時に際して私はお互の皆さんと共に不均衡と不徹底矛盾の時代錯誤の現状を一掃する妙案が考へたい。幸ひに進め誌上にて野眠な先覺者の御奮鬪を祈ります。讀者諸兄よ、目を見開いて天空を仰げよ、あの高い空には全宇宙の生存支配者たる太陽が輝いて居るではないか。

朝鮮農村の緩慢なる殺人

元山　菊池生

虎の住むてふ鷄林入道も今は完全にブルの惡魔に踏み躙られ、搾り吸はれて、一千七百萬の民族は日一日と絶望のドン底へ、死の斷崖へと追ひたてられて行く！個人の殺人は重刑に處しても、組織的の緩慢なる殺人は所謂聖代を誇り、文化政治を高唱する現代に結構にも許されてゐるのだ！斬捨御免は法度でも干し殺すことは構はないのだ！俺は今、朝鮮農民の悲慘なる生活狀態を見、ブルの暴虐なる搾取を知つてもはやこの悲慘度を默殺するだけの忍耐を持ち合はさないのだ！朝鮮農民の搾取の親玉であり、全鮮耕作地の五分の一を所有し同內鮮の經濟的精神的融和てふ美名を揭げて年々多數の移民を全鮮の鮮地に移住せしめ質朴なる朝鮮農民に恐怖觀念を抱かしめ搾取の陰謀を造りつゝある東拓會社の組織的の大搾取をお目にかけやう。詳しいことは紙上が許さない、簡單に書く。

時夏七月のこの頃、渺茫としてつらなり、蒼々としてのび行く水田の散在する南鮮、西鮮の平原に足を運んで見給へ、何人もその大陸的な壯大な景色に見惚れるだら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

う。はてしなき水田の間に天をも摩するやうにスイ／＼とのび行くポプラ、その下にチラホラと見える茸のやうな鮮屋、悠々と煙の輪を吹く老夫、凡ては美しき夢の世界である。だがそれはあくまでも自然の美だ。自然のベールをはづして來臨に現はれ來る人間の生活相を見よ！　それは美しき自然とあまりにも痛ましき矛盾ではないか！

カール、マルクスが二重搾取の原理を說いてブルの慘酷な態度を憤慨し、勞働者の覺醒を促してから既に百年、しかもこの美しき自然の樂園朝鮮に横暴なブルの惡魔は三重四重の搾取の網を張つてゐるのだ！　その網元は政府の支持する東拓會社、移民はその引手の一部となりて幾分かの搾取の餘惠を授からうといふのだ。否授かつてゐるのだ。

何のこだわりもなく育ち行くポプラの木影、或はなだらかな丘の中腹にある比較的太きな鮮屋、かつては愛すべき純情の民が住家であつたのだが、時代はいつのまにか憎むべき移民或は呪ふべき搾取者の安息所と變つていつた。然らば内鮮融和の楔てふ重大使命を帶びてゐるといふ移民は如何なる日常を送つてゐるか？　答へは至極簡單である。（大正十三年度から五丁歩）二丁歩の田地は全部小作させて夫は酒と賭、鮮人の無智な女性を弄んで日を送る。妻は日髮日化粧、農夫としての生活が何處にあらう。遊食すれば冗費がかさむ、二十五ヶ年の年賦金は年々收めねばならない。生活の窮迫するのは當然だ。鮮人の單純と無智を利用して思ひ切つた（やらずぶつたくり）を行はねばならないやうにならうではないか。然らば東拓會社は如何なる仕事をしてゐるのか？　これも答へは簡單である。搾れるだけ搾れ。夫だけである。土地によつて一定しないが小作料の高いのは事實、天災であらうが減じることは絕對にしない。期間に收めないときは私的强制執行をやる、私的强制執行とは字の通り、法に依らずして勝手に農民の家財道具を差押へ處分するのだ會社の手段は移民以上に惡辣である。春になれば瀞態な言葉で肥料を貸してくれる。農民は喜んで借りて來る。しかしその肥料にはその翌日から金利がついてゐるのだ三歩五厘と法外な金利がついて秋の收穫と共に計算するときは莫大な金額になつてゐる。會社は大數仕入れと高い金利とで三重搾取を實行してゐる。斯くして底知れない資本を利用して休みなく土地の買收をやる。背に腹は變へられない。目前の生活のために血の出る思ひをして先祖以來の家屋敷を抵當として安價にとられて了ふのだ全鮮の水田は東拓會社と頑冥な大地主とに分割されて自作農なんか見たくもない。彼等農民の生活は年と共にドン底に陷ちて行く會社が大地主が移民が如何なる法に反した手段を持つて彼等を搾取しやうとも彼の正義の訴へは何處へも洩らす手段がないのだ。法は方便としてのしみが此の地方では通用しない。正義はブルのためのみの正義しかないのだ！

家を奪はれ、食を奪はれ、自由を奪はれた農民の大部分は今は夫でも總てを運命と肯定したか、味もなき一椀の粟飯に腹を承知させ、たぎるやうな水田の中に哀調を帶びた唄を口ずさみながら草とりに餘念がない。來るべき秋の收穫は全部搾取され、やがて完全に干殺されるとも知らずに――。

全鮮に在る同志諸君よ！　更に内地の同志諸君よ！　他の手元にはまだ澤山の事實がある！　悲しむべき彼等の生活の斷層が……

無產者に國境はない！「汝の敵は背後にあり」我等には團結してこの敵にあたらうではないか！　終りに在鮮同感の士は御一報を希望する。

是でも聖代の判決か

無產者の悲哀

流人生

壓迫を受ける者は何時も弱い者ばかりである事をツク／＼感じたから氣の付いた鐵鎚の向ふ處に書き記させて貰ふ事にする。

事件は事實で、當方に利あれども如何にせん無產階級の悲しさ無智が原因して只殆んど資產階級知識階級のなすが儘に放任するより外手段なしとするか。

現在の法律は全く吾等無產階級を苦しめるのみであると云ひたい。目下事件は大審院に於いて繫爭中のものなれば全部を明記し得ざるのが遺憾である。或番人の業務上過失致死被告事件に被害者側遺族（二十三歲以下五人の小兒）の附帶私訴は某地方裁判所に於て一審原告側勝訴。然るに市參事會員達は飽迄も原告を敗らんと大審院へ上告した。

番人の過失なる殺人は殺人あつて、現に一審で訊問を受けたのである。事件は十二年五月四日に發生して十三年七月八日番人に無罪の判決を下した。誤り判事の無能か融通のきかぬ頑固頭は遂に法に拘泥して一審の記錄全部を無にしたのであつた。

かうなる以前、十三年六月十日には裁判所は原告を召喚したが委任辯護士の不當要求に依り、延期せるに起因すとは雖も事實の明確に判明せるものを法を曲げて原告を不利とせる行爲は實に奇怪至極であつて罪を裁くの資格なしと云ふべきである。最初委任辯護士は調査費用として二三十圓を要求し其他一切不要と申しながら上告後は一回上京費用を百圓宛今直く持參せよと云ふさもなくば和解にせよ、さうすれば先方より七百圓位出すだらう。そこでその內、百十圓位原告へ手渡すと云ふ。父は其の二十日程以前に病死し、殘る母を無殘に殺された兒等が此の少額でいつまで耐へられやう。而も此不當要求に對し善處の方法を知らぬ我等は途方に暮るる一方ならず、遂に大審院及一審判決の地方裁判所に嘆願書を提出したが救はれなかつた。辯護士の取締りは誰がするのか。彼等の惡辣手段に泣く者がどれだけ多い事であらう。

多くは無產階級のみ何時も苦しみを受けてゐるのである。又此事件の[illegible]加されるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

赤松君に答ふ

青野季吉

同志赤松克麿君は七月號の本紙において、僕にあてゝ一言してゐる。僕はいま簡單にそれにお答へする。

一、僕が、總同盟の幹部派は歩一歩と改良主義に成り切らうとしてゐる、と言つたのに對し、具體的に說明せよ、と赤松君は注文してゐる。よろしい、注文に應じやう。

言說や宣言の文字は必ずしもあてにならぬ。それが改良主義的方向であるか、革命主義的方向であるかは、實際の行動を見るより外はない。それは以前も今も赤松君と僕と意見を一にしてゐる。そこで總同盟幹部派、今の總同盟の指導者の行動はどうであるか。細かい事實に用はない。最も重要な發展的意義のある肝要な事實の二三を指摘する。

先づ無產政黨の運動についての幹部派の措置は如何。口に唱ふることは何であれ、實際に於て、何一つ積極的な方策を示し、行動を執らなかつたではないか。その結果が組合員が去就に迷ふやうな混雜を來たしたことは事實である、議會利用といふことは言葉であつて、いかなる組織と準備で、その利用の意義を發揮するか、それを僕等は總同盟に期待してゐた。その期待にたいして與へられたものは、形勢觀望的のサボタージュより外にはなかつた。かゝる日和見的の行き方が、改良主義への一步退却でなくて何であらう。

組合運動の方面での幹部派の措置如何。無產政黨をして眞に無產者のものへ發展させる上にも、資本の新攻勢に對する必要からも、組合の總聯合運動は一刻を遲らせば一刻だけの損失である。しかもその運動の中心となつて、積極的な一步を踏み出す可きものが、わが國勞働組合中の最も戰鬪的組織と云はれた總同盟でなければならぬことは言ふまでもない。而して當時の總同盟の指導者は果してよく、その一步を踏み出したか。總聯合の基礎條件たる產業別組合への組織の變更についても、總聯合の具體方策についても、僕等は遂に總同盟から何ものをも示されなかつたではないか。產業別組合の組織や、總聯合はいま直には行はれぬと云ふ實は、それへ向つて宣傳、努力を損ふ可き理由とはならぬ。總同盟幹部の行動が、現實にたいして餘りに奴隷的で、征服的でないことは、彼等の日和見主義乃至改良主義への發展を證明するものでなくて何であらう。

次に實際的な政治行動で見やう問題はかの治安維持法反對の運動の時である、なるほど總同盟は反對を表明し、示威運動へも加はつた。しかし最も有力に、戰鬪的な態をもつて、その運動に參加したであらうか。全國的組織たる總同盟の全勢力を傾倒して、それに當つたであらうか。それに當らしめる意志か幹部にあつたであらうか。これに對する答へは、反對運動の實際の事實が與へてゐる。思ふに無產者の政黨があつては、あの種の運動を有力に働きかけることは來ない。しかし無產者の政黨が出つたところで無產者の產業的組織體がその職場、街上において意志を表現することをもつて基礎としない以上、政黨は『議會を利用して』何事をなすことも出來ぬ。治安維持法にたいずる總同盟の態度のうちに、そんな問題は組合にとつて肝要ではない、政黨が出來てから、と云つた心理を讀み取ることは果して不自然なことであらうか、そこに議會利用から議會主義への一步退却を見ることが、果して無理であらうか。

無產階級運動における凡ての戰一運動は積極的に行動せず、現實の政治鬪爭に有力に參加しないことが、外國における改良主義組合や國際の特長であり、組合官僚や勞働貴族の習性であることは、赤松君の方が僕などよりヨク知つて居られるであらう。その同じ特長や習性が、右大な二三の事實の中に芽を吹いてゐると斷定したところでそこから『黨派的』臭氣が發散するわけはない。それを『黨派的』だとする見方にこそよほど非科學的な物があると云つてよい。

二、次に赤松君は半年ばかりのうちに、僕が『變色』したといふやうなことを云つて居る。何より先づこれには、時日の間違ひがある。半年前の僕は、時が遲いため田舍へ行つてゐた。赤松君と意見を同じくして、德田球一君等を『罵倒』したのは、鐵工組合に於ける杉浦君等の事件のあつた時、即ち約一年前である。當時僕は、杉浦君等のあの行動をもつて、最も非革命的な小兒病的なものと考へそれを支持してゐたらしい德田君にも直接に、幾度かそれを非難し德田君も了解する所があつた。赤松君と意見を一にしたのはその時期であつた。

爾來一年自由主義的鬪爭の効用性を認むることにおいて、共產主義小兒病を排することにおいて、議會主義萬能の小ブルジョア的思念と戰ふことにおいて、幹部乘取的陰謀を排する點において無政策的妄動を排することにおいて、日本におけるコンミユニズムの其政黨系樹立の必要を痛感してゐる點において、一年前の僕と今の僕と、何等『變色』してゐるところはない。

赤松君は僕が多少『左へ』傾いたといふ。果して僕が『左へ』傾いたのか、僕はもとの所にゐるが赤松君が『右へ』一步傾いたために、僕が『左へ』傾いたのやうに見えるか。それは僕に斷ずることは出來ない、たゞ何れにしても、赤松君がそうであらうとて、僕も大向ふの喝采などを相手に仕事をしてゐるものでないことは勿論である。

最後に親愛な同志赤松君の健康を祝しておく。(七、二一)

只管願ふけれども

秀信

革命革命

革命を只管願ふてゐるけれども人人は、安住と諦めの世界の居酒屋で酒をのんでゐるらしい。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新刊紹介

◆社會問題辭典（高畠素之著）社會問題に關するすべての辭をローマ字順に配列して社會問題に關する知識を提供したもの〻色々の方面に分れてゐて社會問題のすべての方面のことはなかなか理解しにく〻なつた今日、此出版は時機に適したものと云ふ事が出來る、ことに著者として『マルクス全集』の譯者を得たことはその當を得たものといふべきである。（定價五圓四六七五一頁、東京牛込矢來町三、新潮社）。

◆社會主義と農村問題（ミリューデイン著、河内太一郎譯）ヴイジオニスト等に對してマルキシズムの農業理論を主張したものであつて、社會主義の農業理論及びロシア革命の歷史等を知るに適したものである。レニンの農業革命論の附錄もある。（一圓八十錢、四六判二二四頁東京神田駿河臺西紅梅町十二、同人社）

◆社會と宗教と藝術（林癸未夫著）文藝評論家としてその深い研究と高い見識によつてみとめられた、林癸未夫氏の論集であつて、問題となつた『新プロ文學の破滅と新プロ文學の創造』を收めてゐる、文藝論集としては近來見るべきもの〻一つである。（二圓八十錢四六判東京小石川大塚仲町三六反省社）

◆社會學と政治論（バーネス著新明正道譯）政治學の分野にいかに社會學が影響したか新しい政治學の基礎となつた社會學、社會學の養分を攝取する事になつた政治理論の不可分な關係を研究したものである。（二圓八十錢、四六判三七五頁、東京市牛込橫寺町四三、聚英閣）

◆大杉榮全集（第五卷）此卷には飜譯ばかりがあつめてある近代ロシアのアナーキスト、クロポトキンの自叙傳として有名な『一革命家の思出』全篇の他にやはり社會革命に對する檄文『青年に訴ふ』佛蘭西革命の事實についてか〻れた『革命の研究』並に名著『パンの略取』の一節を拔いた『自由合意』等の三篇が添へてあるがクロポトキンの此等の著作が同じ流れをくむ大杉氏によつて飜譯紹介された事頗る意義あることでもありまた譯文の流暢で活氣のあることも譯者が此の最適任者であつたことを證明してゐる。本の表裝の眞黑で背に赤い文字をあらはしたのも大杉全集らしくてよい。（東京本郷駒込町、大杉全集刊行會）

◆義人全集（第一編）明治の奇傑義人田中正造翁の遺跡保存會が設立し翁の功績を世に闡彰するための事業の中に此の全集の出版も加はつてゐる。翁の面目は第一議會からずつと後まで栃木縣の民衆を代表して議會に出で足尾の鑛毒事件を其主要なるものとして天下の政治の爲に常に正義を標榜して立ち權勢に跪かず多數に動かされず節を屈せず自家の所信を披瀝した所によくあらはれてゐる。此全集一編は演說集として第一議會より第八議會迄の演說や質問の筆記があつめてある。（定價五圓、東京赤坂氷川町、中外評論社）

◆新政治運動論（鶴見清著）學者であつてしかも自ら政治運動にも關係してゐる鶴見氏の普通選擧法に關する論評である。選擧區徹底的選擧法、普選の五大意義、比例代表論、政黨論、等を收む。（一圓九十錢、四六判三〇六頁京都北白川西町一三六民人社）

◆灰色の葉に下がる（渡部信義著）農村プロレタリアの詩集、資本主義社會にあつて虐げられ蹂躙され人間生活線下に蠢く百姓の生活の慘狀を涙をふるひながら怒り訴へたもの、百姓の心臓の底から迸り出た沈痛悲壯なる韻律は讀む者にまざまざ百姓の憤怒と呻きを聞かせる。（菊半截一四九頁定價六十錢、鴉め社取次販賣）

◆兒童の社會問題（増田抱村著）歐米の先進國では兒童の教養保護に關して社會的にはどう云ふ施設が出來てゐるか、又顧つて見た我國の現狀は如何といふ問題に就いて著者が内外の事情を調査した最近の資料により幼兒死亡の防止問題不良兒童の性能調査をはじめ兒童保護に關する各種の政策とその實際的制度に就いて或は統計による數字を示し又は其の經過や趨勢について詳しく說明した著である。（定價壹圓五拾錢、菊判二〇六頁、東京神田區表神保町同文館）

◆社會民主黨綱領解說（カウツキー著、三輪壽壯譯）社會民主黨の國家觀をのべて、未來國家即ち彼等の所謂理想國の組織制度に及び現在に於けるその主張をも明かにしたもの、無產政黨の組織の參考となるものと思ふ。（定價一圓五十錢、四六判四五七頁京都丸太町寺町東弘文堂書店）

◆鄉士制度の研究（小野武夫著）德川時代に於ける鄉士制度の本質を明かにし、これを社會經濟、軍事の方面から考察したもので今日に於ても村にあつては舊家として尊敬を受けてゐる鄉士はいかにして成立したものであるかを論じてゐる。（定價二圓五十錢、菊判二〇一頁、東京府下大岡山高工前、大岡山書店）

◆社會思想講話（稻田茂著）ゾムバルトの分類に從ふて近世の社會思想を合理的社會主義と一現實的社會主義との二部に分ちオウエン、サン・シモン等の空想的社會主義ゴドウイン、バクーニン、クロポトキン等の無政府主義等からマルクスの社會主義思想サンジカリズム、ギルド社會主義等の主張を簡易平俗に解說した小著である。現代學術講話の第三編。（一圓八十錢）東京市青山南町而立社四六判二六二頁）

◆普選より新らしき政治へ（池田超爾著）普選の解釋をして同時に其の理論的又實際的根據實施上の諸問題について說明してある（四六判布裝三五六頁二圓五十錢東京小石川區戶崎町四四稻淵堂書店）

◆社會主義及社會運動（ゾムバルト著、林癸未夫譯）第八版による全譯であつて社會主義研究の入門書として定評あり既に二三の飜譯書も刊行されてゐるほど重要なものである。社會主義を知るには高名なマルキシストの一人なるゾムバルトに聞くべきである。（定價三圓五十錢、四六判五〇六頁、東京神田駿河臺西紅梅町十二同人社）

◆農民運動と高松事件（若林三郎著）高松の人權蹂躙事件の眞相を公表し民衆に訴へ裁判の公正を期すると共に現下の農民運動に對する暗影を一掃せんとの希望の下に書かれたもの。（菊判紙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

装二八五頁、定價二圓、東京本所綠町五ノ四、長越信陽堂書店）

◆政治的認識の基礎（村瀬武比古著）序文の代りに『言ひ草』と題せるは面白し、併して政治の意義を極めて新しく、且つ詳かに說いた近頃の好著である。（菊版布装二六五頁、三圓二十錢神田區南神保町九太陽堂書店）

◆勞農露國革命憲政論（上村進著）革命當時露國で制定された新憲法九十條を逐條的に飜譯し解說し露國聯邦共和國の組織の大要から無産階級獨裁政治の興起した前後の事情なり新政治の內容などを平明に講述してある。（一圓八十錢東京神田仲猿樂町三寶閣）

◆日本農民騷動史（木村靖二著）『星はまたゝいてゐる、黎明の村は希望をもつてゐる。骨と皮の農村は悶み、明るみへの路傍にうろついてゐる。搾取に疲れた象兆が現れてゐる、とげ〳〵しい心が動いてゐる。光、何處にありや』と序に記す。農民一揆の研究、明治初年農民騷動論、小作爭議論等の各章にわたつて德川時代以後のわが國の農民騷動の重要な部分を丹念に評してゐる。（菊判四六〇頁、定價四圓、東京神田區錦町一の十六、二松堂書店）

◆農村問題（氣賀勘重著）農村問題について著者の研究を披瀝したものである。（菊判假裝一五二頁、六十錢東京神田區南神保町岩波書店）

◆クロポトキン倫理學（安部浩譯）偉大なる人道的科學者たるクロポトキンの名著の譯であつてその起源及發達を評論してある。（菊判假裝三九八頁、二圓八十錢、麴町區內幸町アラネ書院）

◆農政四十三講（河田嗣郎著）本邦農政に關する重要問題が累積して居るが其れに就き折に觸れ著者の論じたもの四十四編を取り集めてある。（四六判紙裝三九二頁、定價二圓五十錢、東京芝區愛宕下町一ノ一、改造社）

◆ロシア小學讀本（世界文庫刊行會譯）一年から八年までの讀本を譯す（四六判紙裝各百頁各六十錢、東京市外西大久保四七〇其會）

◆法城を護る人々『中篇』（松岡讓著）上篇が出て讀書界の好評を博したことは周知のことである、滿五ケ年の心血を注いで完成した傑作だけあつて出でゝ益々深刻味を增す。（二圓三十錢、東京芝區高輪南町六、第一書房）

◆デカメロン（梅原北明譯）伊太利文豪ボッカチオの五百五十年祭記念として飜譯されたるもの世界的不朽の名著として是非無くてはならぬ飜譯であることは出版後重版を幾度かしたのによつても容易に證明される。これは上卷であるが、やがて下卷を得てこの一大奇書は完全なるものとなるのであらう。（四六判布裝六七四頁、定價二圓八拾錢、小石川區林町五七朝香屋書店內南歐藝術刊行會）

◆資本主義と戰爭（松下芳男著）資本主義制度の下に起る國際戰爭の起因は何邊にあるか、而して如何にせば此の地上に、此の非道德的慘事、國際戰爭の絕滅を期し得るか。新しき國際平和論者たる著者は幾多の事實と共に論じ來つて餘す所はない。日米戰爭云々とさえ云はれてゐる、而して目前に支那の動亂、更にまた經濟界の恐しき不況を現じつゝあるの今日、啻に研究資料たるのみならず、此の現實に當面して又得る所深き著書である、敢て一讀を勸む（四六版約二百頁、定價壹圓、東京市小石川區小日向臺町二ノ一九、文化學會出版部發行）

於編輯室

◆今月は石川君も雲助も、小助もゐなかつたので巻頭言は鈴木氏、編輯は本部全員に渡邊信義君他數名の後援の下にやつてのけた。

◆先月號はとてつもなく後れたので、今月はなるべく早くせねばならぬと云ふので氣を揉んでやつたが、何しろ引越しの後始末もなつてゐず、七月號の發賣直後で原稿も思ふ樣に集まらず、隨分てこづつたが、同人百方奔走の上まあ此分ではどうやら普通位には出來上るだらうと思つてゐる。

◆內檢閲で少々時間をとられるので、殊に先月なんか檢閲官も暑さでなまけたものか思ふ樣にやつてくれず、隨つて雜誌が後れるといふ樣な譯になるのだが、それに檢閲を受けるなんて云ふ事も面白くないがそれと云つて受けなければどうも發禁は一寸免かれ難い樣だ然し困ることや癪に障ると云ふ點ではこんなこと位は、まして資本主義社會に楯を衝かうとする者に小さな話だ。思ふ樣になつたら文句はないはづ、我慢して貰ふさ。

◆編輯の都合で五行十行から三四十行位の小記事がウンと必要だ。一寸鐵骨を刺すの皮肉でもいい。簡單な事實報告でもいい。鬪士を勵ます詩歌でもいい、どし〳〵送つて欲しい。

◆それに『全土戰線』の記事はなるべく欲しい。最近のものではどうも少過ぎると思ふ（同人）

月刊 産兒調節評論（一部 三十錢）
京都市外宇治町山本宣治方
産兒調節評論社
振替大阪七三四七番

月刊 新興婦人（一部 二十五錢）
長野縣下伊那飯田町三五三六
新興婦人社
振替長野四二〇七番

月刊 土地と自由（一部 十錢）
大阪市北區兀成町
日本農民組合本部
振替大阪六七七八番

月刊 平民新聞（一部 十錢）
松江市南田町中ノ町
平民新聞社

月刊 尖端（一部 十錢）
東京府下上目黒四二八
整頓社

カール・カウツキー著　石川準十郎譯

新學説大系9

マルクス經濟學入門

マルクスの學説は既に論爭の時代を過ぎた。二十世紀後半の歴史は恐らく全世界に亙る其實證の歴史であらう。現代に生きる人にとつてマルクス學説への正しき理解が今日より急なるは無い。此書は彼が不朽の著たる『資本論』を骨子とした經濟學説の通俗的紹介であつて、譯述者は如何にして大衆と共に理解し易く、而も其學説の粹を盡くして遺憾なき一個の小ぢんまりとせる書を成し得べきかを苦慮したと云つてゐる。

＝定價壹圓貳拾錢、郵送料八錢＝

東京市牛込區矢來町三番地
振替東京一七四二二番
新潮社

ヘンドリック・ヴアン・ルーン著　近市子譯　～　定價二圓八拾錢　送料十二錢

バイブル物語　上卷

＝書きかへられたる聖書＝

近代人に最も親しみ深い平易な聖書。若き信者が心の糧を照す光明。新しき父母が愛兒に聞かす物語の泉。時に教師が教子を導くための道標。本書は世界的歴史家で文明批評家であるヴアン・ルーン氏の一傑作である。譯文の暢達はよく原書の粹を捉へて遺憾なく、出版責任者は印刷に、製版に、裝幀に定價に留意してその使命を懇切周到に完うした。

東京市本郷區東竹町二十一
振替東京一五五七五番
四方堂

山川亮著短篇選集

決闘

四六版二百四十頁◆箱入極美裝
定價一圓八十錢◆書留送料廿錢

十五年の間に書き溜めたものゝ裡から厳選に厳選をして漸く出來ました。著者はこの書を自信を以て讀者にお勧めいたします。是は決して時間の無駄潰しにも金錢の浪費にも、ならないことを確信します。これは勿論無産階級の『米の飯』だとは申しませんが、少くとも茶菓子であるとは信じてゐます。著者はこの書でシガツメらしく小理窟を述べるのではありません。寝轉んで、または樂々と膝を崩して無産階級の諸君と握手しやうと思ふのであります。内容は悉く一粒選の作八篇文藝年鑑子をして『これだけの作は容易に飛び出るものではない。今日毎月發表される文壇の傑作十篇を以てしても、この作一篇にも敵はない』と評されたもの。一圓八十錢では安いものです。

四紅社
東京府下池袋九九九
振替東京七〇六五九番

文藝戰線

八月號出づ！

本號主なる執筆者

青野季吉　茂森唯士
今野賢三　前田河廣一郎
林房雄　金子洋文
山田清三郎　村松正俊
西村陽吉　平林初之輔
相田隆太郎　新井紀一
本郷一郎　伊福部隆輝
武藤直治　高群逸枝
井東憲　岩崎一

定價廿錢　送料二錢

東京市外雜司ケ谷龜原五四
文藝戰線社
振替東京五九三八七番

月刊　婦人と勞働（一部二十五錢）
東京市外淀橋町一〇一九　職業婦人社
振替東京六四一六〇番

月刊　新社會（一部廿五錢）
名古屋市中區上前津町二番地　社會通信社
振替名古屋七六四〇番

月刊　社會思想（一部三十錢）
東京市下谷區上野櫻木町四五　社會思想社
振替東京五二一八一

月刊　奔流（一部二十五錢）
島根縣松江市津田町三〇四　山陰新人總聯盟

月刊　萬人文藝（一部十錢）
東京市外東中野一七二四　萬人社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働問題 婦人問題
農村問題 社會主義 ＝圖書販賣
街鬪社
大阪東淀川區十三南通町二二〇

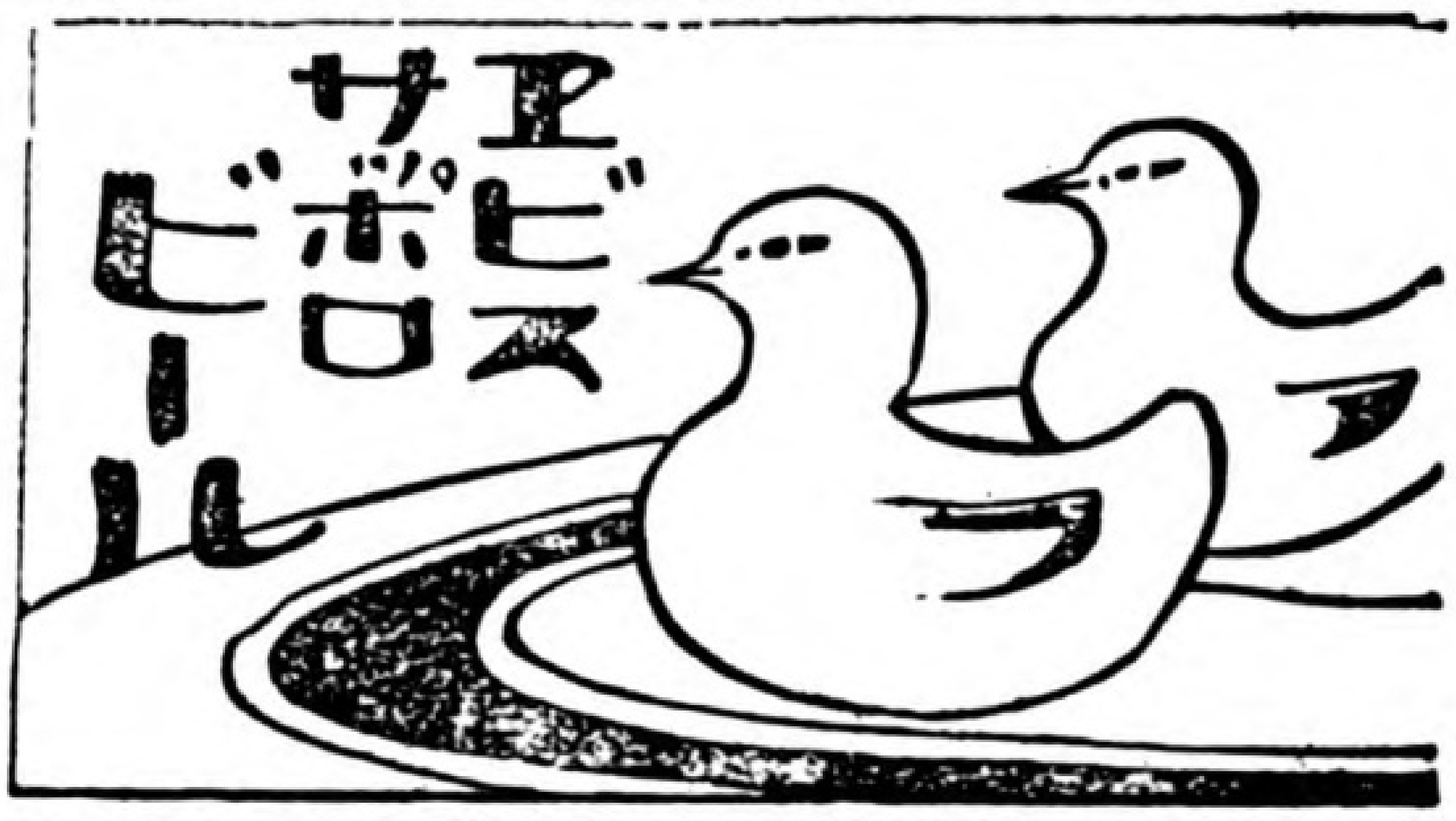
「進め」讀者法律顧問
赤坂表町一丁目一番地 辨慶橋前
辯護士 辨理士 法學士
久保山武雄
電話高輪五〇五四番

新聞雜誌其他の印刷
東京芝區新櫻田町十九
自由活版所
所長 岡千代彦

◇社會主義 ◇圖書雜誌
◇社會問題 ◇パンフレット
◇勞働問題 ◇リーフレット
◇婦人問題 ◇書籍雜誌
新橋堂書店
大阪市此花區中江町
新橋南詰

金銀
白金
德力本店
東京市神田區松田町

仁丹



絨綿布
高級既成品
中古品
卸小賣
商
野村商店
大阪市東區町特丁目交叉點
南へ入西側
電話 東一〇四六番
振替大阪一六六八番
特に
思想團體
勞働團體 に御用
水平社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

受けて重宝
贈るに便利

商品券

御進物用には是非これを!!
金一圓以上は箱
さしまして至
極体裁よく御調製致
します

東京、大阪、
神戸の本支店及
び各出張店の共通で御座います

中元暑中の御贈答に最好適

大阪 心齋橋筋

白木屋

精工舍時計

歐米時計類
眼鏡双眼鏡
測量諸器械
プラチナ地金
ダイヤモンド
紀念盃徽章
寶石指環類
各種装身具

服部時計店

東京銀座二丁目

不斷の努力を捧げて

絶えず品質を精選し、價格は低廉に、趣味と實用を標榜として、常に社會の趨勢に鑑み、時世に適應して改善に改善を加へつゝ、不斷の努力を續けてをります當店は、店内の諸施設、店員のサービスに於ても萬全を期し、只管華客各位の御滿足と御愉快を以て直ちに當店の喜びと致してをります、何卒御休憩旁々御光來の程偏に御願ひ申し上ます。

地方よりの御註文は通信販賣部宛に願ひます、猶その御手引として御便利なる當店發行の「三越カレンダー」御申越次第御送附申し上ます。

大阪・高麗橋

三越呉服店

良品廉賣

松坂屋

いとう呉服店

大阪市日本橋三丁目
名古屋市中區榮町

The Su-su-me, Socialists Monthly
Head office No. 1 Sarugakucho 2-choma Kanda Tokyo.

お買物は三越

品は良く、價は廉く、品數は豐富

◆三越には日常生活の御必要品は大抵御座います
◆良い品は東京に限りますが東京でも三越の品ならば御安心であります

三越呉服店

◆東京駿河町◆

お客様の高島屋

實質本位の百貨店

高島屋呉服店

大阪長堀橋

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 ◆毎月一回 ◆定價 一部 十銭(税五厘) 一年一圓(税共)
發行所 東京市神田區猿樂町二ノ一(振替東京六九八五三番) 進め社